

第6回川崎市地域福祉実態調査（令和4年度調査）

結果概要

# 川崎区版

---



# 目次

調査の概要 .....	- 1 -
■ 調査の目的 .....	- 1 -
■ 調査の設計 .....	- 1 -
■ 概要を利用するにあたって .....	- 1 -
1. 回答者の基本属性 .....	- 3 -
2. 『川崎市地域福祉計画』について .....	- 9 -
3. 居住地域について .....	- 10 -
4. 地域活動やボランティア活動について .....	- 24 -
5. 保健・福祉に関することについて .....	- 29 -
6. 防災に対する意識と備えについて .....	- 32 -
7. 今後の地域福祉の推進について .....	- 37 -
8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます .....	- 42 -
資料 アンケート調査票 .....	- 64 -



# 調査の結果

## 調査の概要

### ■ 調査の目的

本調査は、市民の地域福祉に関する意識を多面的に調査することにより、地域における生活課題を明らかにし、『第7期川崎市地域福祉計画』の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

### ■ 調査の設計

#### 【調査対象者】

市内在住の18歳以上の男女（外国人を含む）各区1,000人、全市合計7,000人

#### 【調査時期】

令和4年11月～令和4年12月

#### 【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

#### 【調査内容】

- ・基本属性
- ・『川崎市地域福祉計画』について
- ・居住地域について
- ・地域活動やボランティア活動について
- ・保健・福祉に関することについて
- ・防災に対する意識と備えについて
- ・今後の地域福祉の推進について

### ■ 概要を利用するにあたって

- (1) 図中のnとは、基数となる実数のことである。
- (2) 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- (3) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。

#### 【回収率】

区名	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	不明	全市
配布数（人）	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	7,000
有効回収数（人）	303	363	346	341	359	332	371	35	2,450
有効回収率	30.3%	36.3%	34.6%	34.1%	35.9%	33.2%	37.1%	-	35.0%
（参考） 第5回回収率	30.9%	33.9%	35.0%	32.6%	35.9%	35.0%	40.9%	-	35.3%

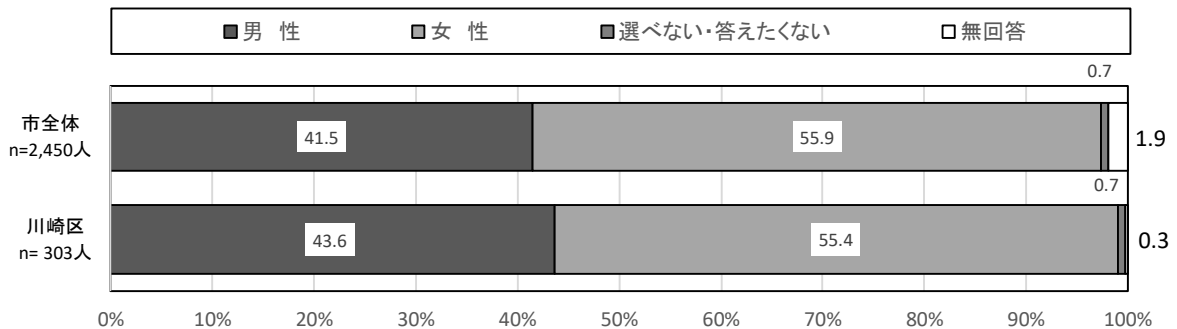




# 1. 回答者の基本属性

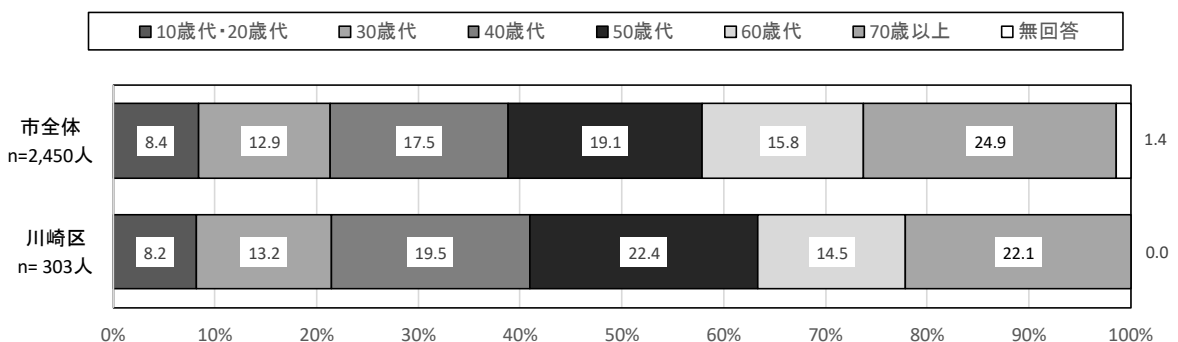
## 問1 性別を教えてください。(1つに○)

川崎区では、男性が43.6%、女性が55.4%となっている。



## 問2 年齢は満何歳ですか。(○は1つだけ)

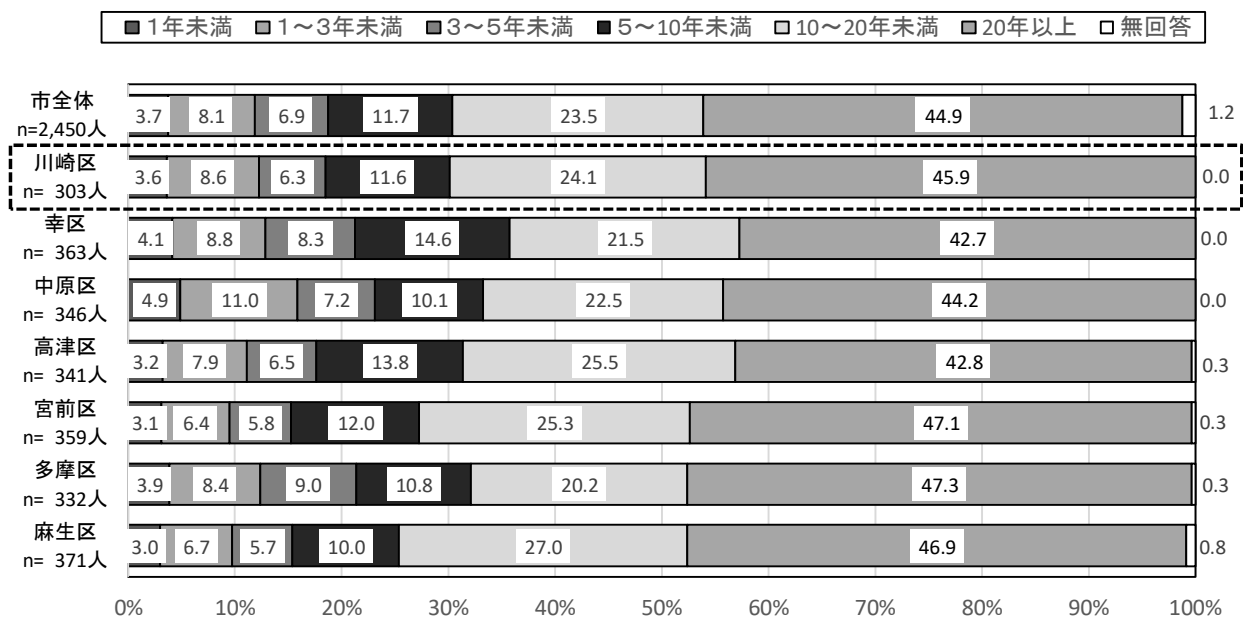
川崎区では、50歳代が22.4%で最も高く、次いで70歳以上(22.1%)、40歳代(19.5%)となっている。



※問3・問4については、地区を記載する設問のため、地区版では省略します。

## 問5 現在お住まいの区には何年住んでいますか。(○は1つだけ)

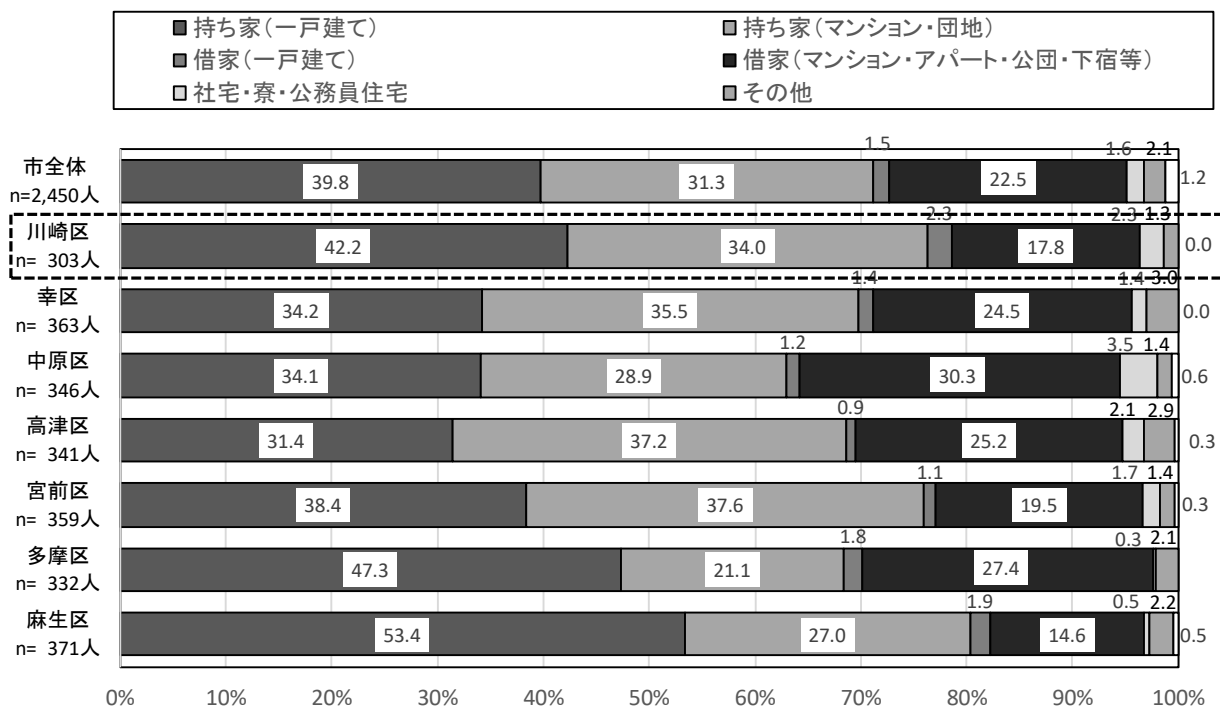
川崎区では、20年以上が45.9%で最も高く、次いで10~20年未満(24.1%)、5~10年未満(11.6%)となっている。市内6区と比較すると、10年以上の割合(10~20年未満と20年以上を合わせた割合)が70.0%で、3番目に高くなっている。





問6 現在のお住まいの形態を教えてください。(〇は1つだけ)

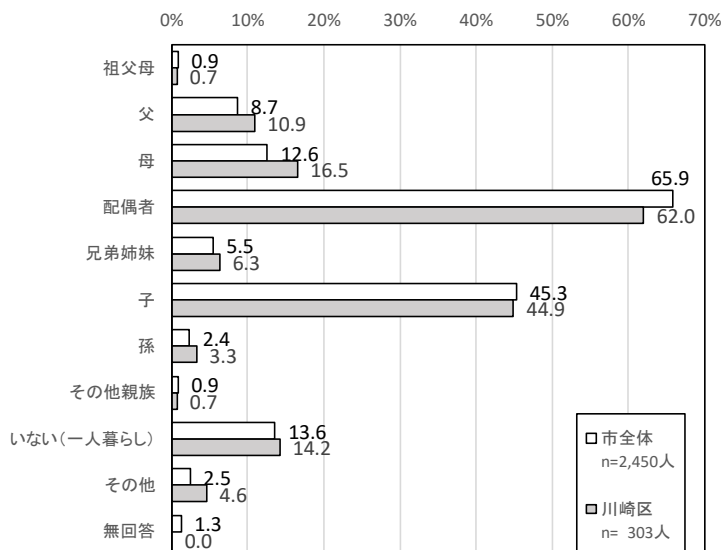
川崎市では、持ち家（一戸建て）の割合が42.2%で、市全体（39.8%）を2.4ポイント上回っている。市内6区と比較すると、持ち家（一戸建て）と持ち家（マンション・団地）を合わせた持ち家の割合が76.2%で2番目に高くなっている。



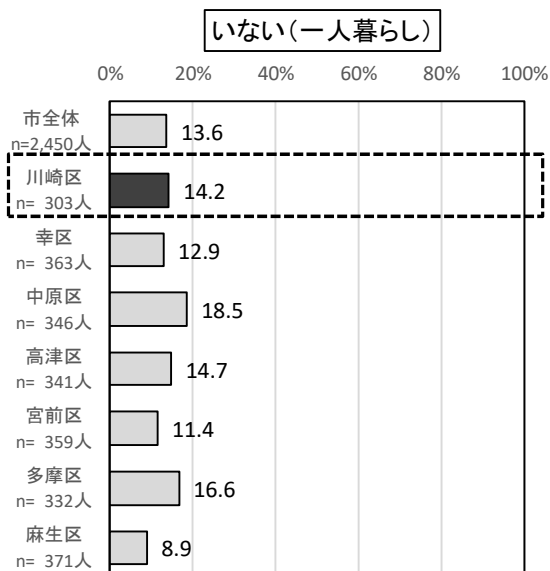
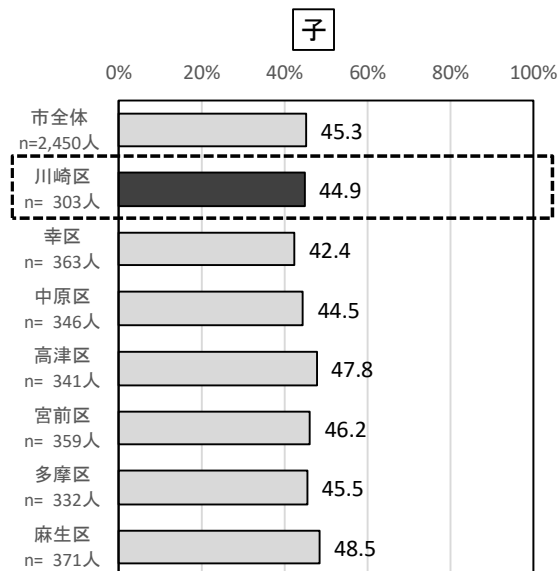
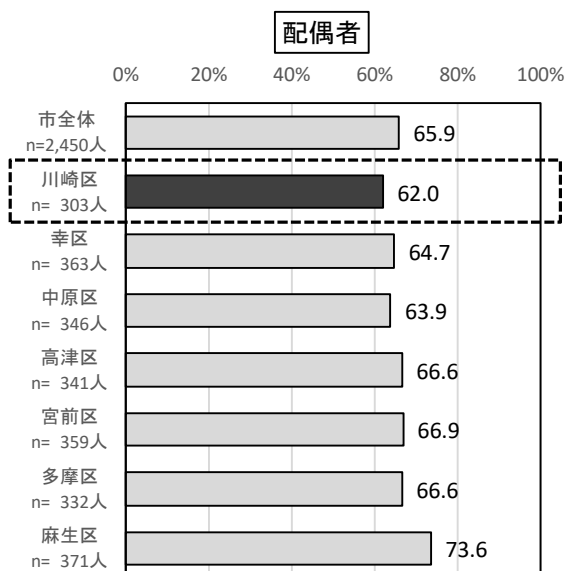
問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

川崎区では、「配偶者」が62.0%で市全体(65.9%)を下回っている。

市内6区と比較すると、「配偶者」は62.0%と最も低い。また、「子」は44.9%で3番目に低く、「いない(一人暮らし)」は14.2%で、4番目に高くなっている。

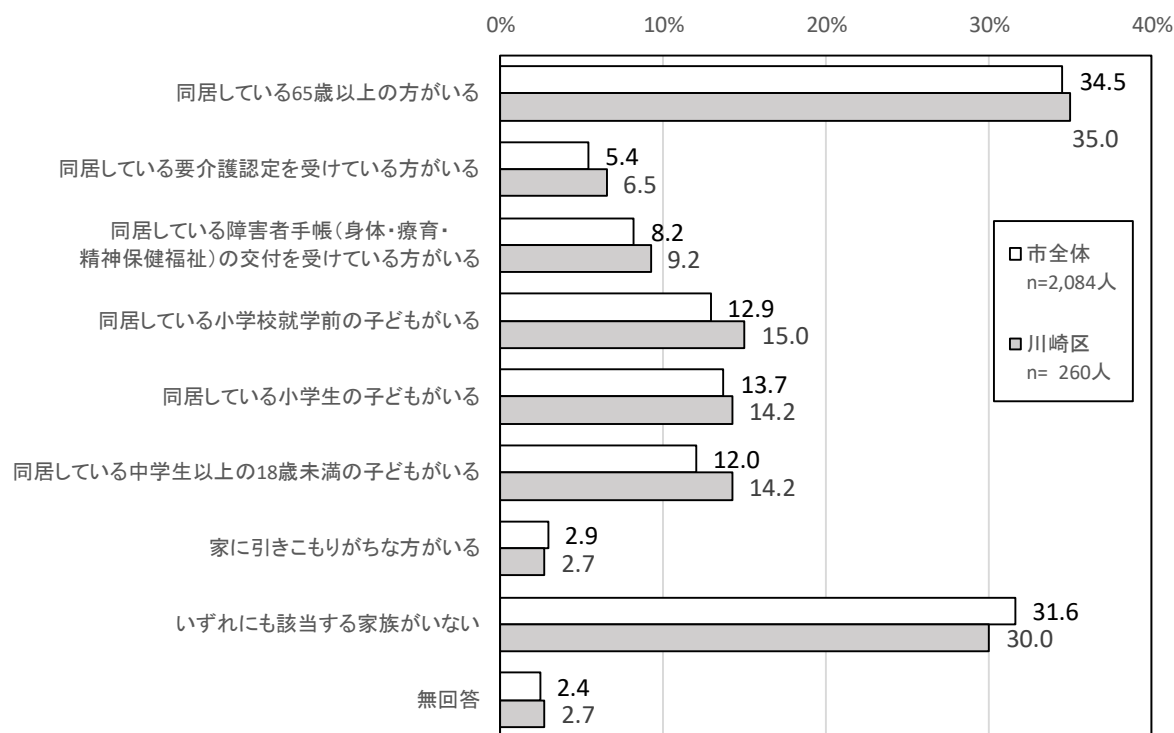


【参考】

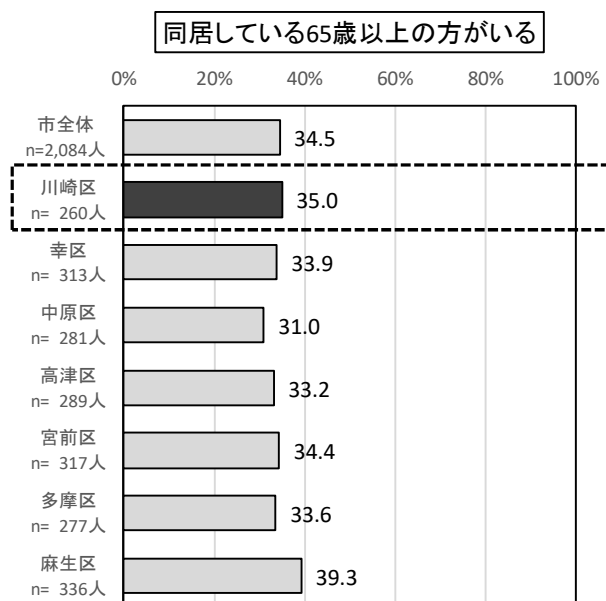


問8 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

川崎区では、「家族の中に 65 歳以上の方がいる」が 35.0%で市全体（34.5%）と同程度となっている。市内6区と比較すると、「家族の中に 65 歳以上の方がいる」割合は 2 番目に高くなっている。



【参考】

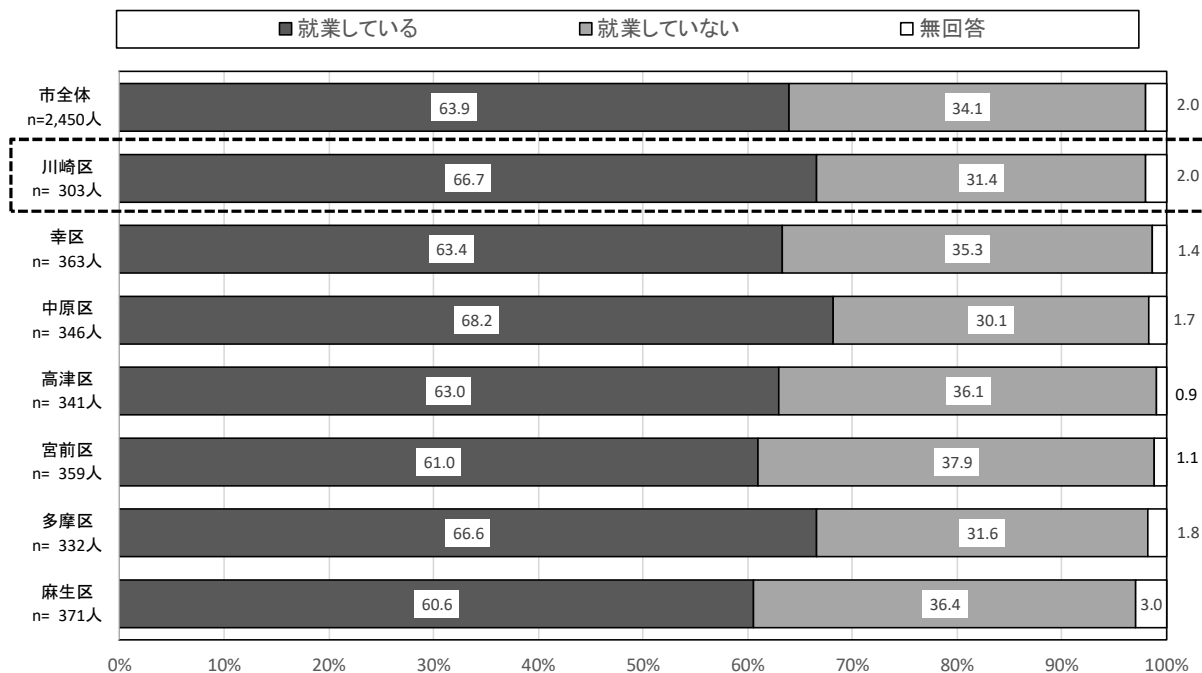


問9 就業の状況はどれに該当しますか。(〇は1つだけ)

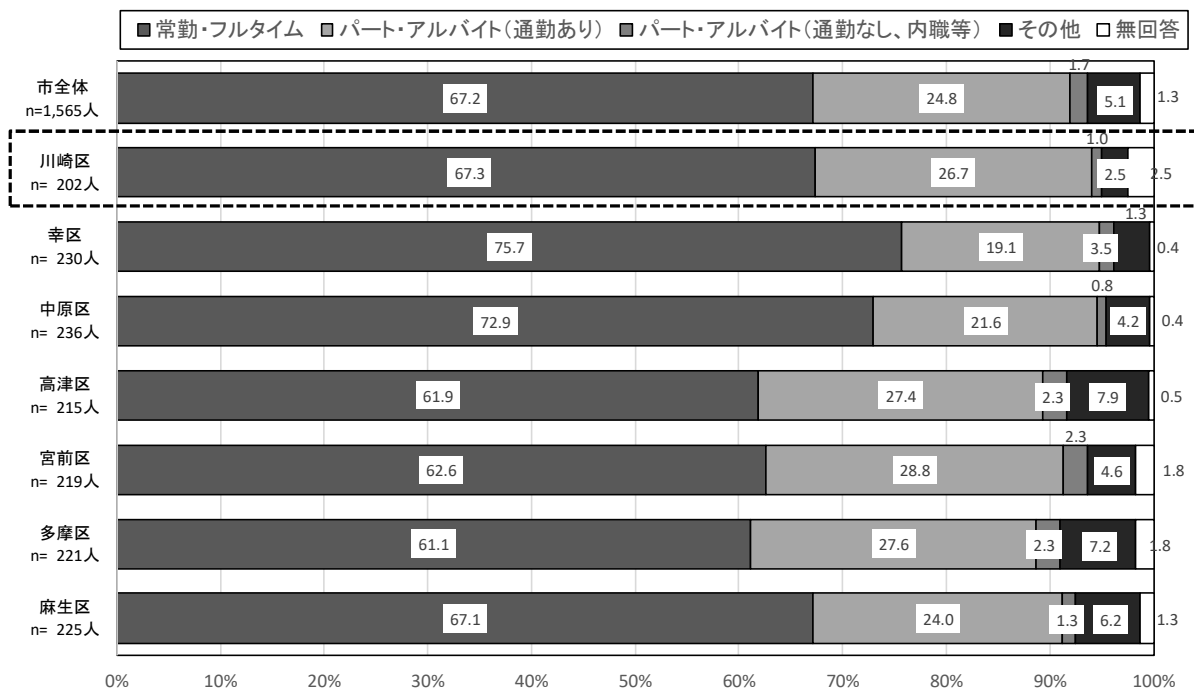
川崎区では、就業している割合が66.7%で市全体(63.9%)を上回っている。市内6区と比較すると、就業している割合は3番目に高くなっている。

就業形態については、常勤・フルタイムが67.3%で市全体(67.2%)と同程度となっている。市内6区と比較すると、常勤・フルタイムの割合は3番目に高くなっている。

ア. 就業状況

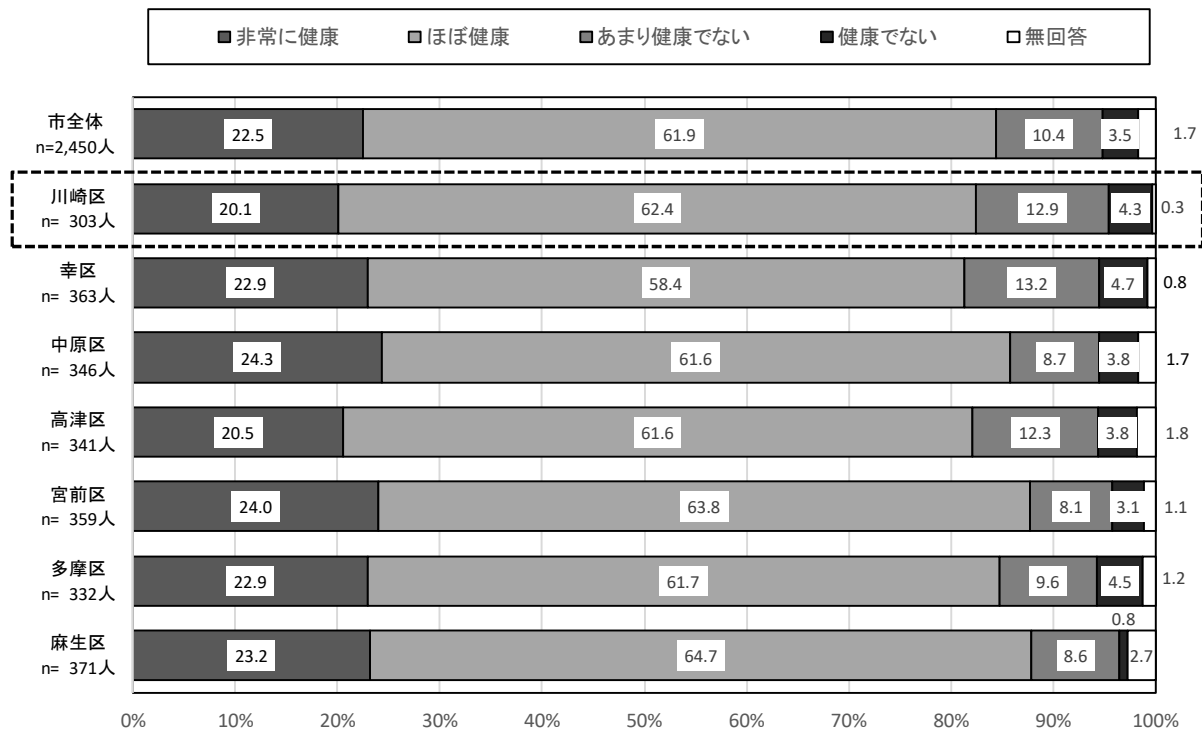


イ. 就業形態



問10 あなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

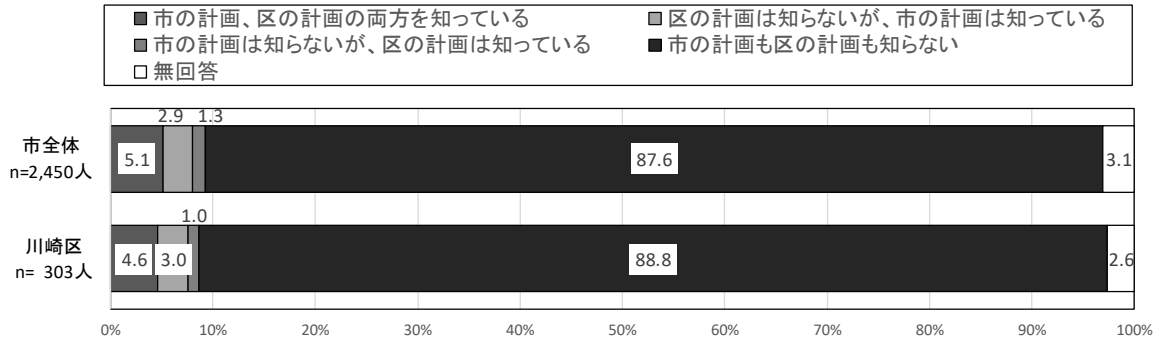
川崎市では、健康状態が「ほぼ健康」の方が62.4%で市全体(61.9%)と同程度となっている。市内6区と比較すると、「ほぼ健康」、「非常に健康」の割合を合わせると82.5%と3番目に低くなっている。



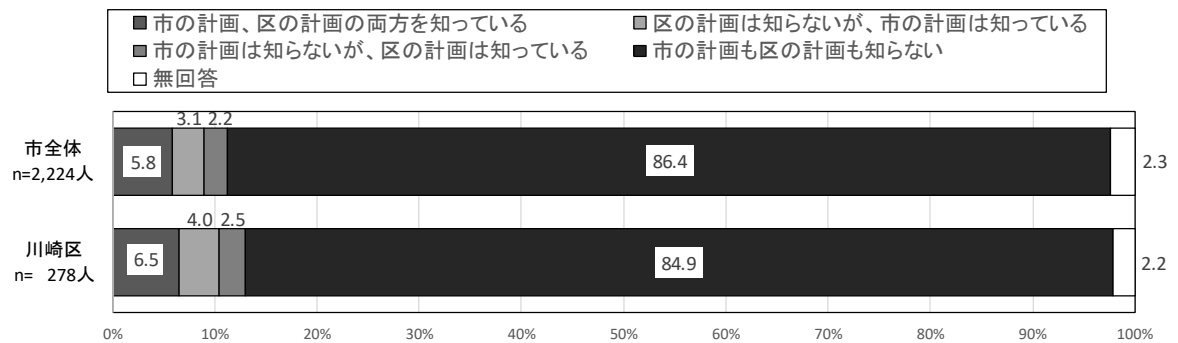
## 2. 『川崎市地域福祉計画』について

問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。（○は1つだけ）

川崎区では、「市の計画も区の計画も知らない」割合が88.8%となっている。第5回調査結果と比較すると、「市の計画も区の計画も知らない」割合は3.9ポイント増加している。



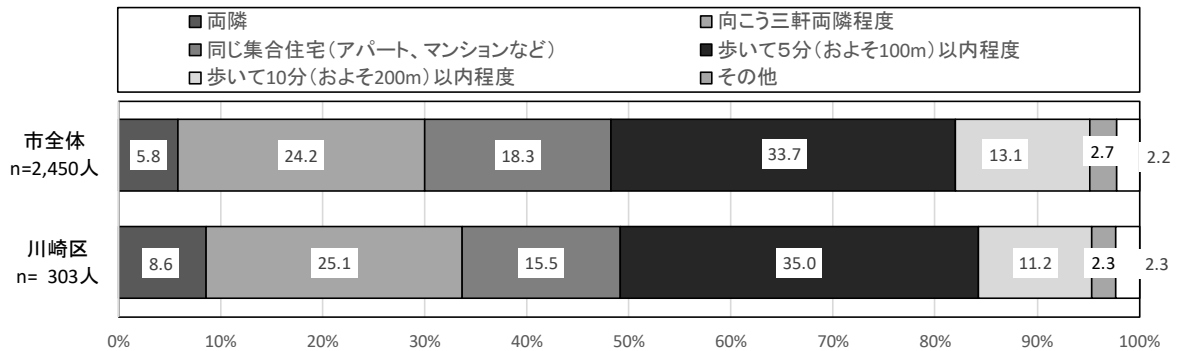
### 【参考】第5回調査結果



### 3. 居住地域について

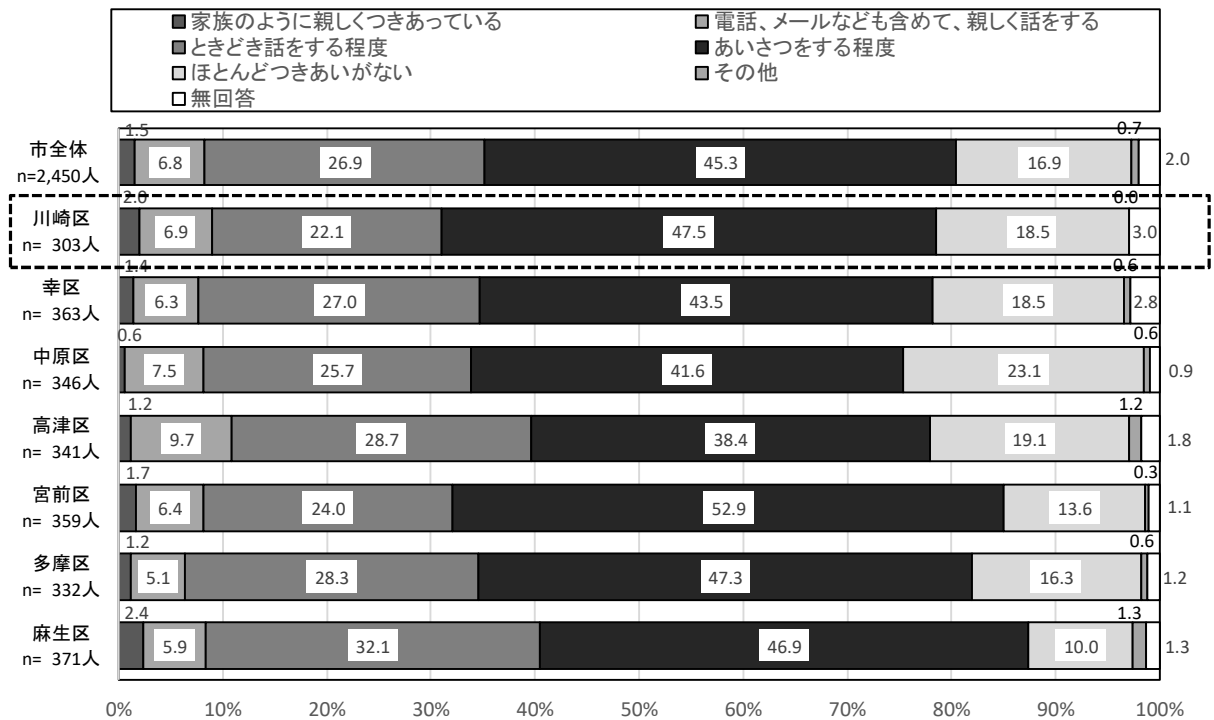
問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(○は1つだけ)

川崎区では、「向こう三軒両隣程度」の割合が25.1%で市全体(24.2%)と同程度となっている。



問 14 あなたは、ふだんご近所の方との程度のつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

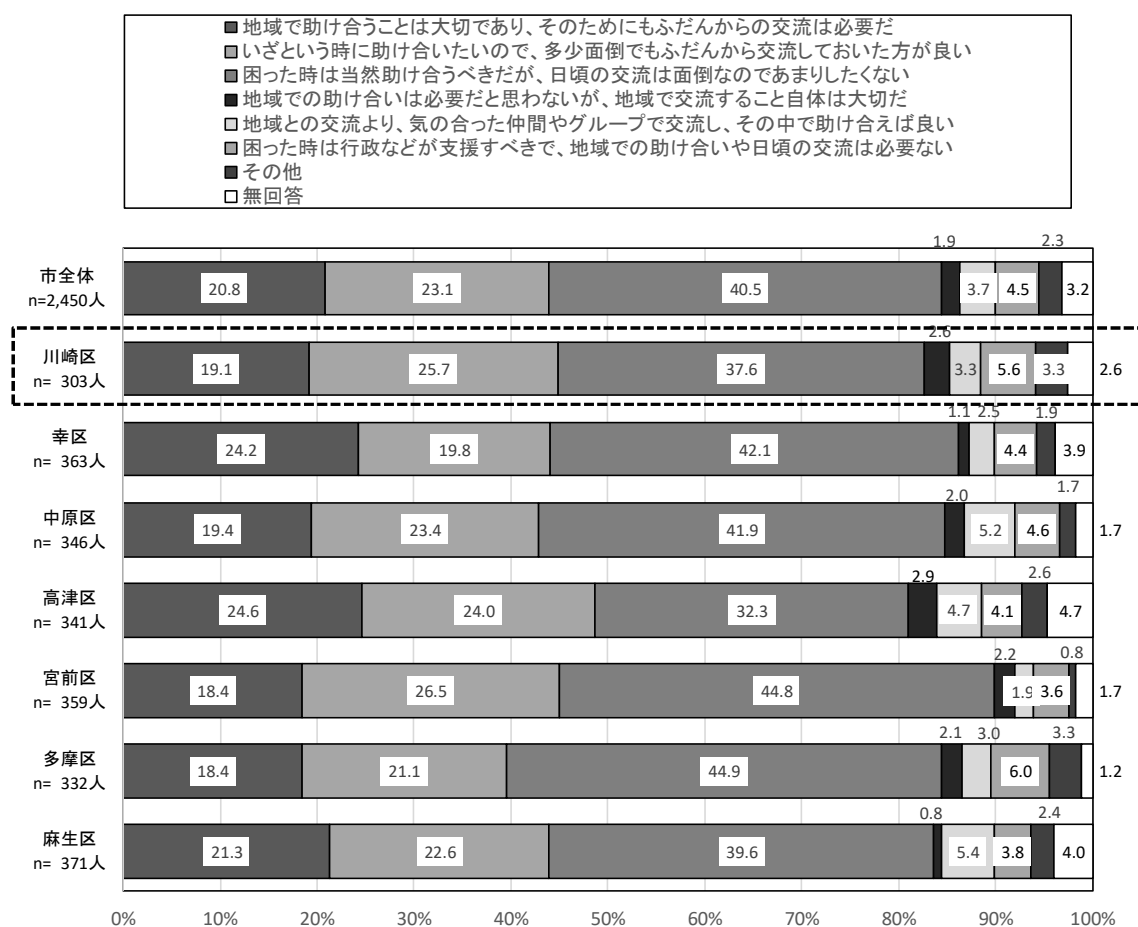
川崎区では、「ときどき話をする程度」の割合が22.1%で市全体(26.9%)を下回っている。市内6区と比較すると、「家族のように親しくつきあっている」、「電話、メールなども含めて、親しく話をする」、「ときどき話をする程度」を合わせた割合は31.0%で、最も低くなっている。



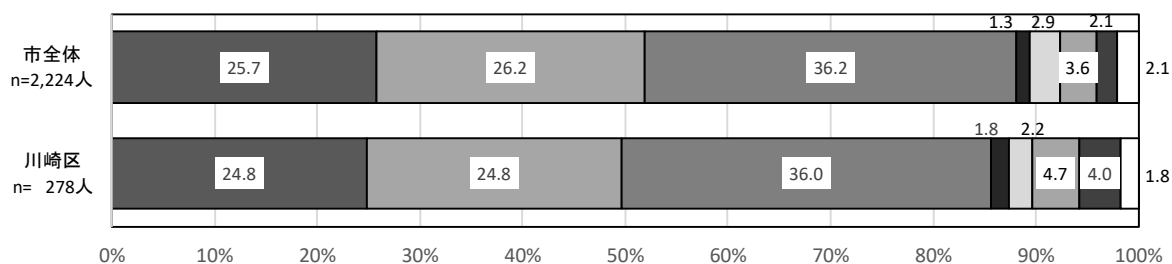
問 15 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。  
(○は1つだけ)

川崎区では、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が  
良い」の割合が25.7%で市全体(23.1%)を上回っている。市内6区と比較すると、「いざという  
時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」の割合は2番目に高く、  
「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」、「いざという時  
に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」を合わせた割合は44.8%  
で3番目に高い。また、「困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりした  
くない」の割合は37.6%で2番目に低い。

また、第5回調査結果と比較すると、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだん  
からの交流は必要だ」の割合が5.7ポイント減少している。



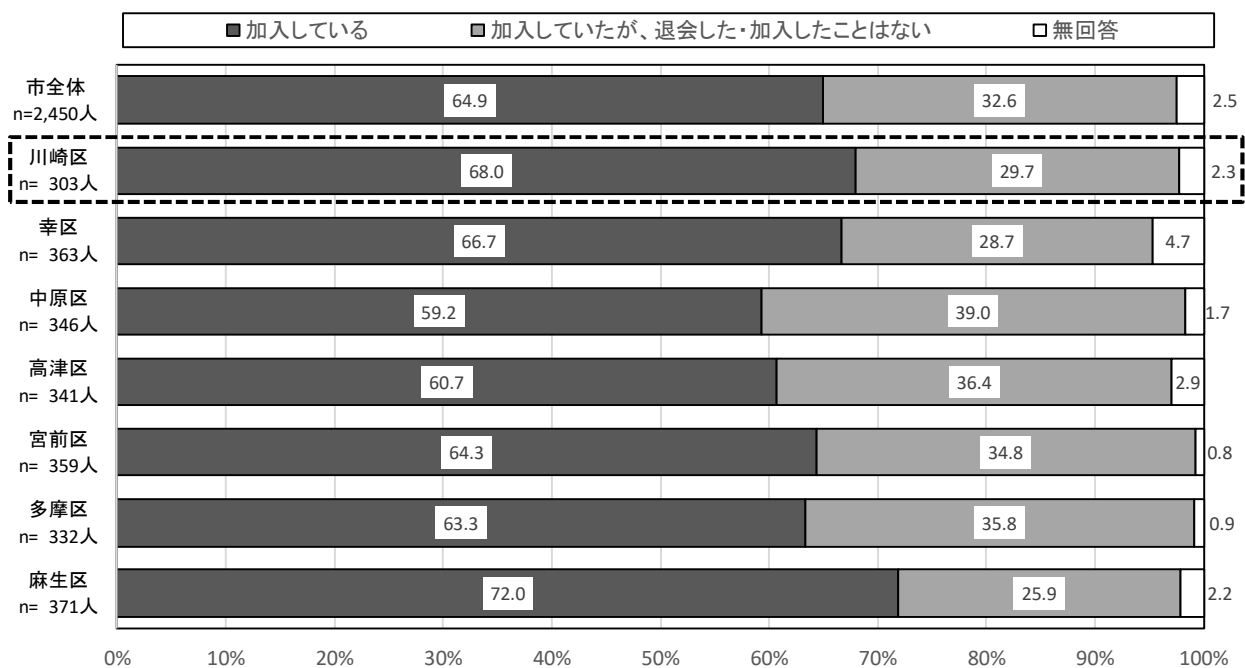
【参考】第5回調査結果





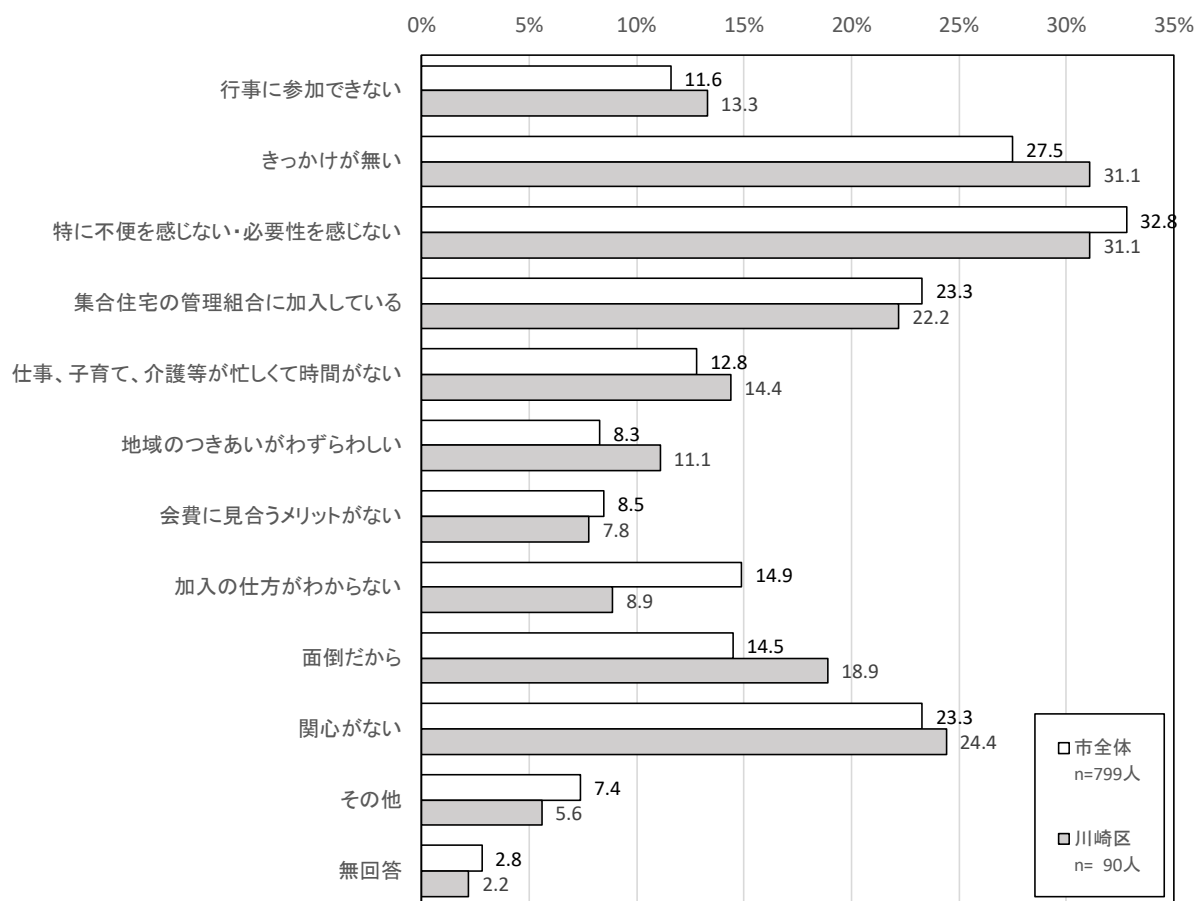
問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

川崎区では、「加入している」割合が68.0%で市全体(64.9%)を上回っている。市内6区と比較すると、「加入している」割合は2番目に高くなっている。



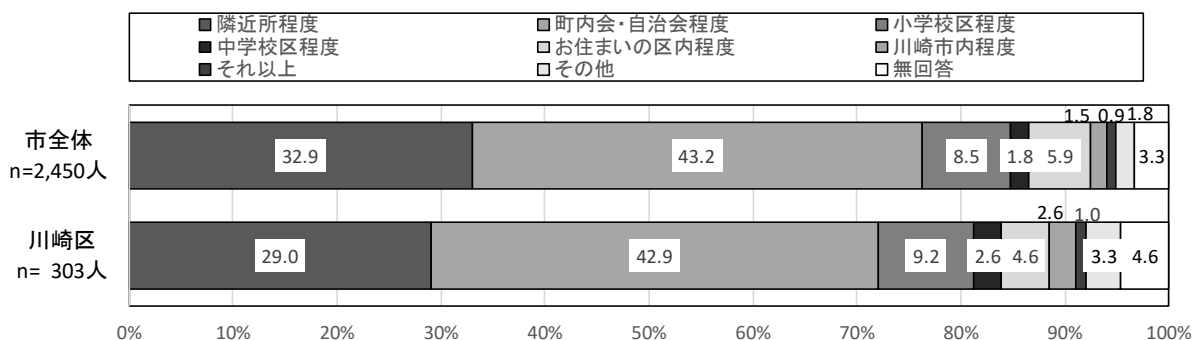
問 16 - 1 《問 16 で「加入していたが、退会した・加入したことはない」とお答えの方》現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

川崎区では、「きっかけが無い」「特に不便を感じない・必要性を感じない」がともに 31.1%で最も高くなっている。また、「加入の仕方がわからない」の割合が 8.9%で、市全体（14.9%）を下回っている。



問 17 あなたは、助け合いをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

川崎区では、「隣近所程度」の割合が 29.0%で市全体（32.9%）を下回っている。

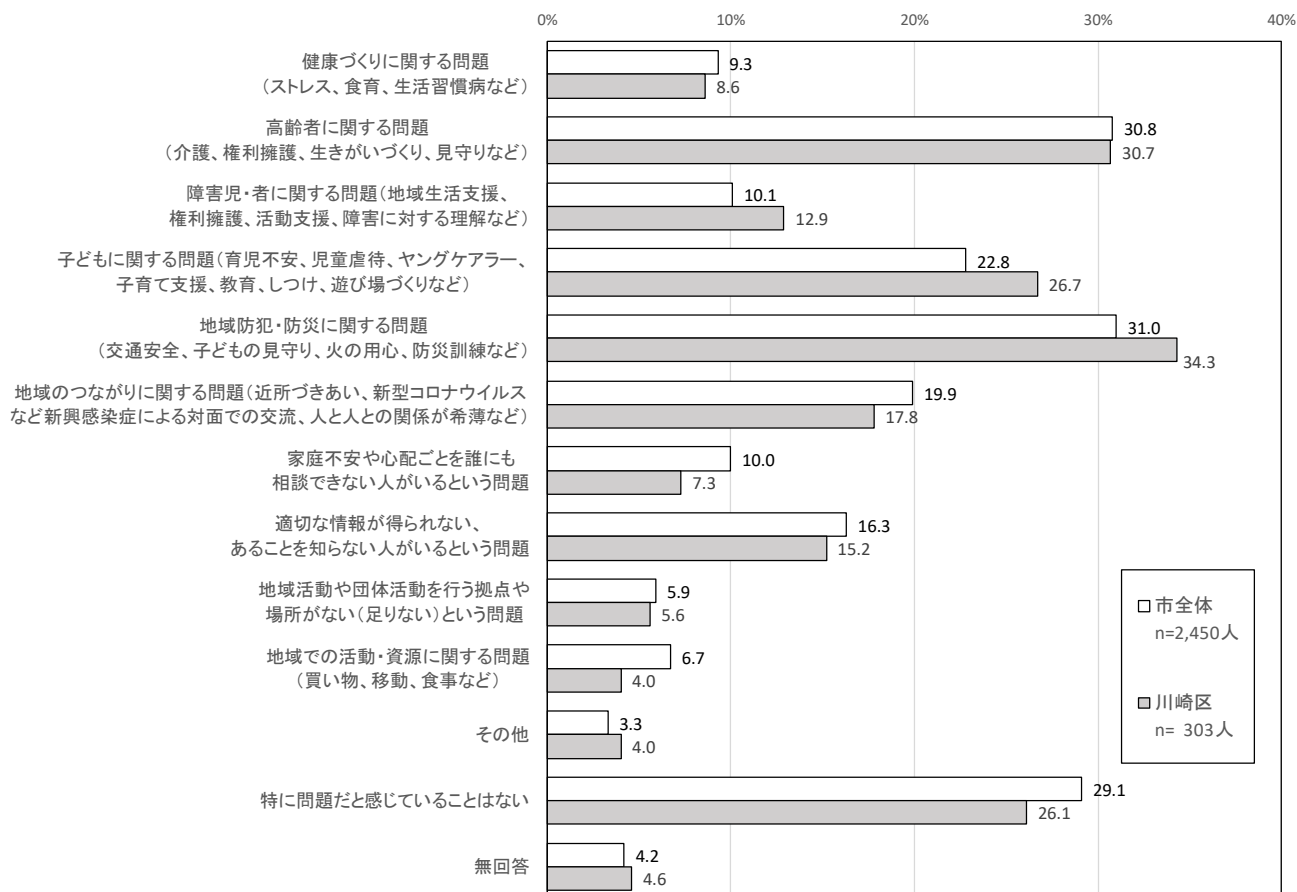


問 18 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。

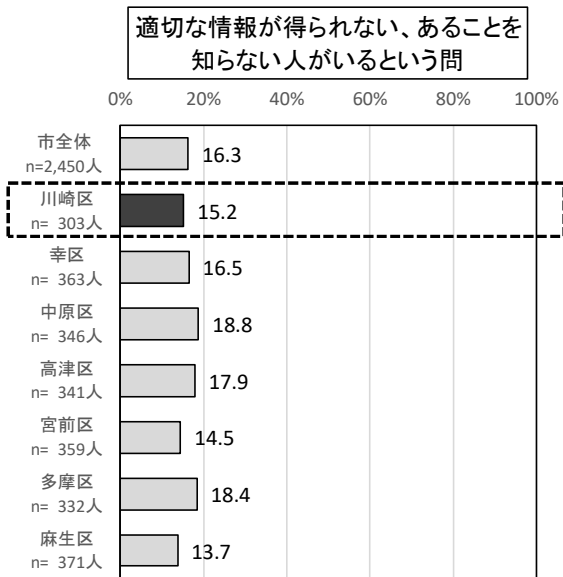
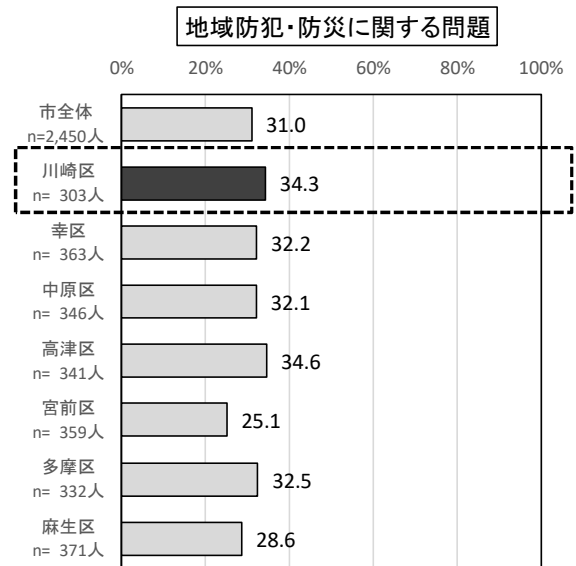
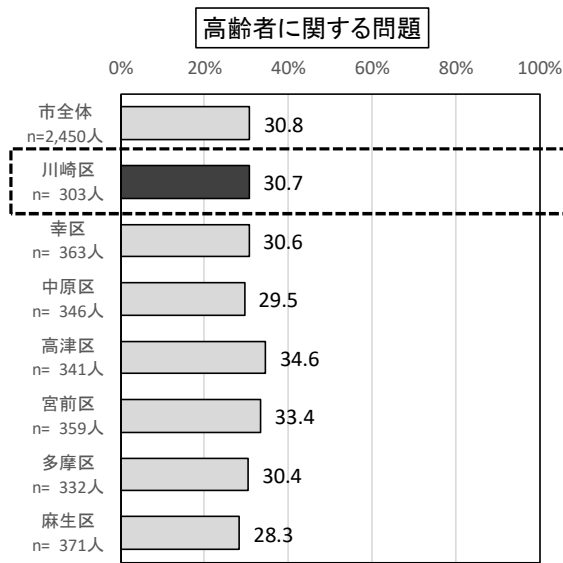
(あてはまるものすべてに○)

川崎区では、「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」の割合が34.3%で最も高く、次いで「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいきづくり、見守りなど）」（30.7%）、「子どもに関する問題（育児不安、児童虐待、ヤングケアラー、子育て支援、教育、しつけ、遊び場づくりなど）」（26.7%）となっている。

市内6区と比較すると、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいきづくり、見守りなど）」（30.7%）については3番目に高く、「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」については34.3%で2番目に高くなっている。一方、「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題」（15.2%）については3番目に低い。

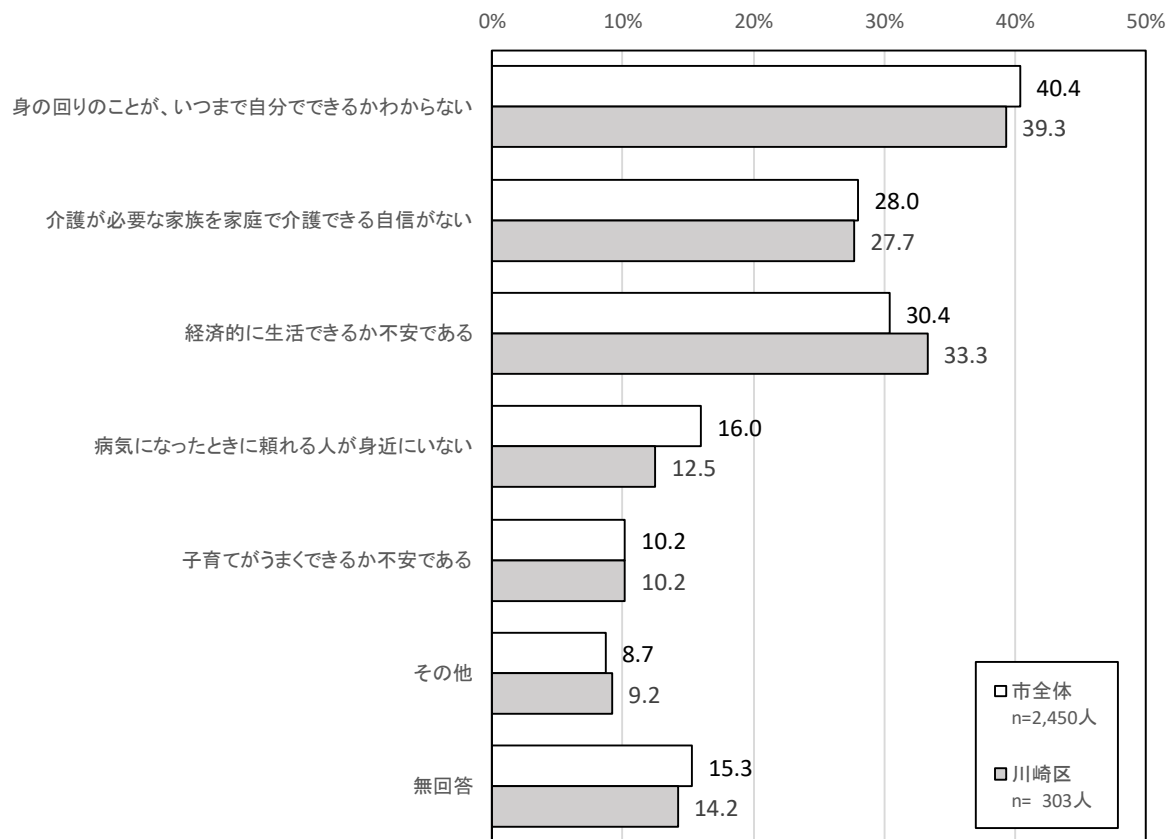


【参考】



問 19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

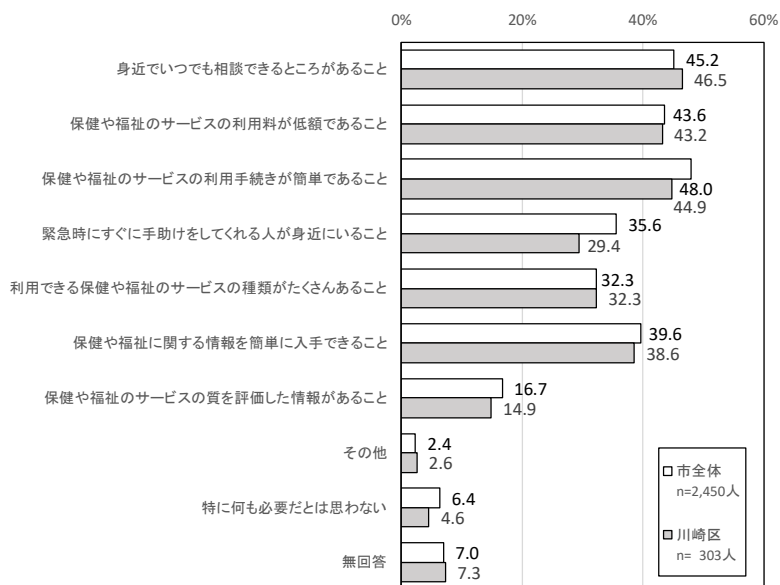
川崎区では、「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」の割合が 39.3%で最も高く、次いで「経済的に生活できるか不安である」(33.3%)、「介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない」(27.7%)となっている。



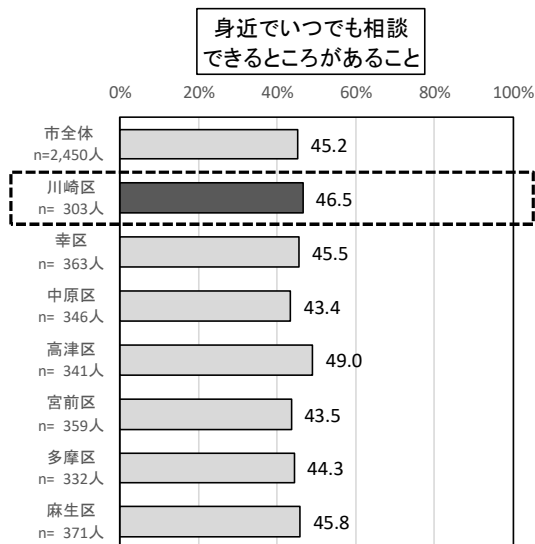
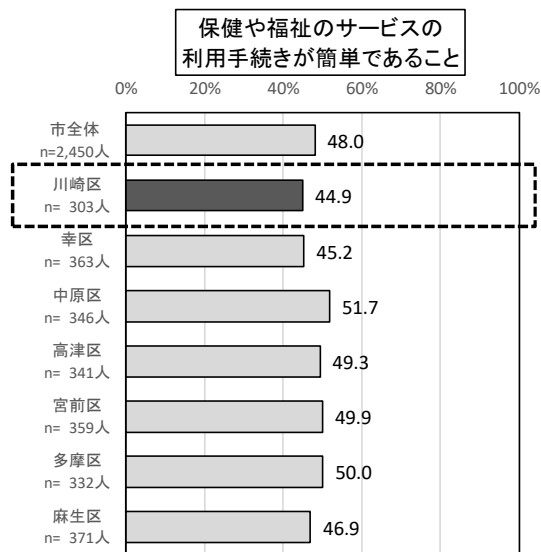
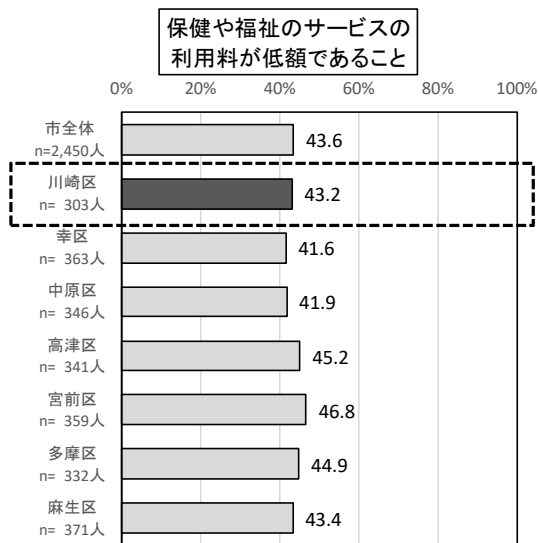
問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

川崎区では、「緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること」が 29.4%で市全体(35.6%)を下回っている。

市内6区と比較すると、「保健や福祉のサービスの利用料が低額であること」は 43.2%と3番目に低く、「保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること」は 44.9%と最も低い。また、「身近でいつでも相談できるところがあること」は 46.5%と2番目に高くなっている。



【参考】

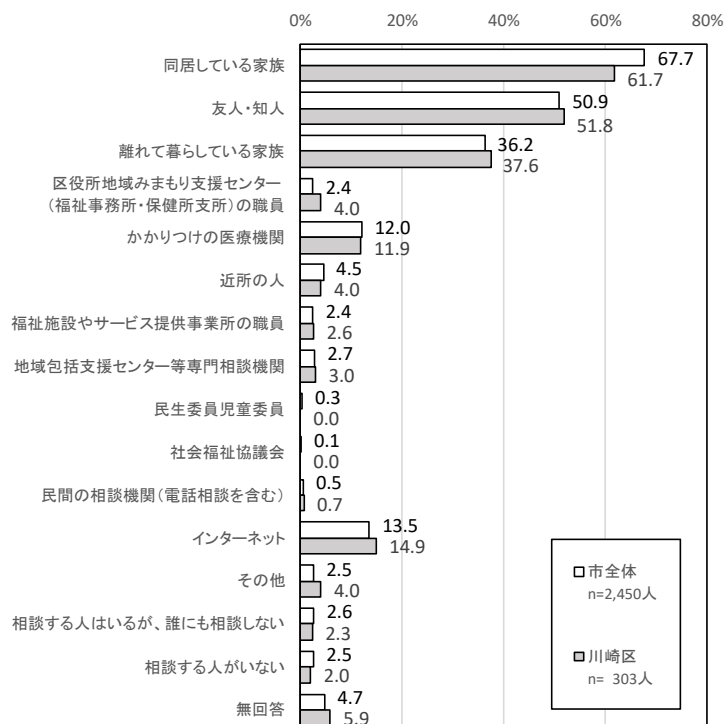


問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

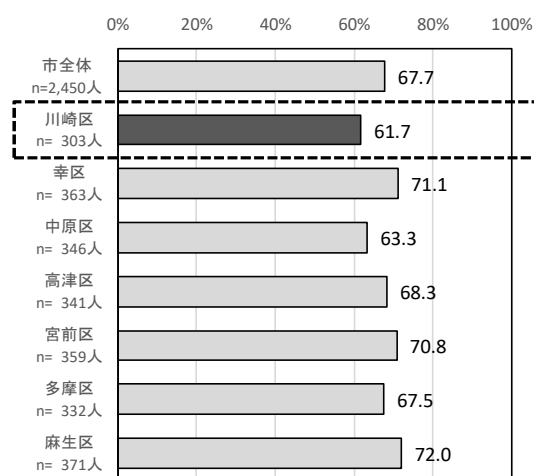
川崎区では、「同居している家族」が61.7%で市全体（67.7%）を下回っている。

市内6区と比較すると、「同居している家族」（61.7%）は最も低い。「友人・知人」については4番目に高く、「離れて暮らしている家族」は3番目に高い。

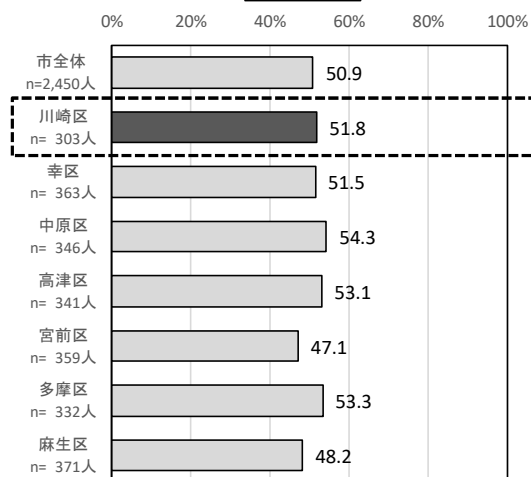


【参考】

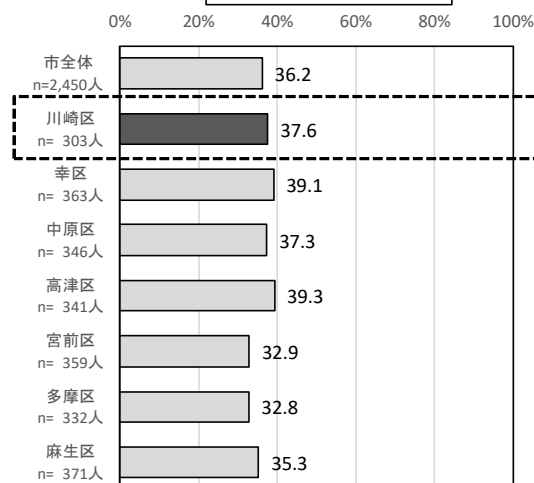
同居している家族



友人・知人



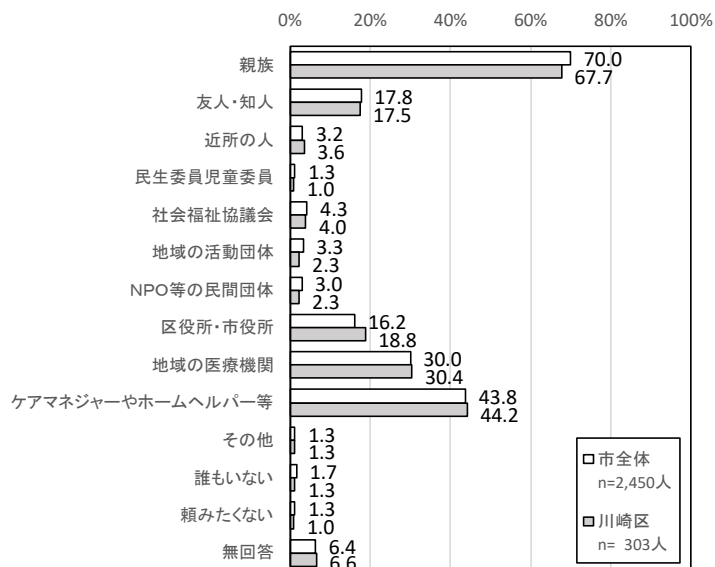
離れて暮らしている家族



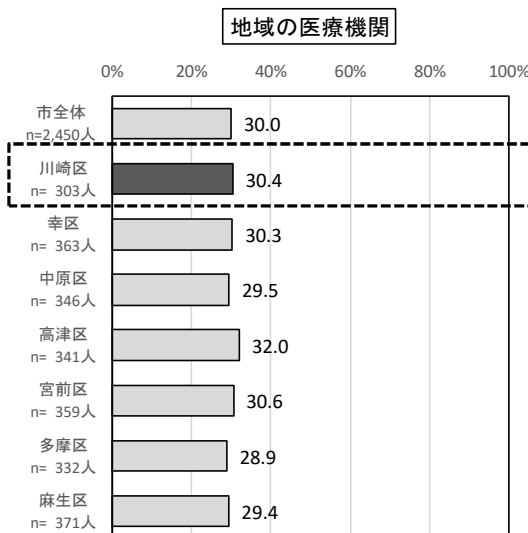
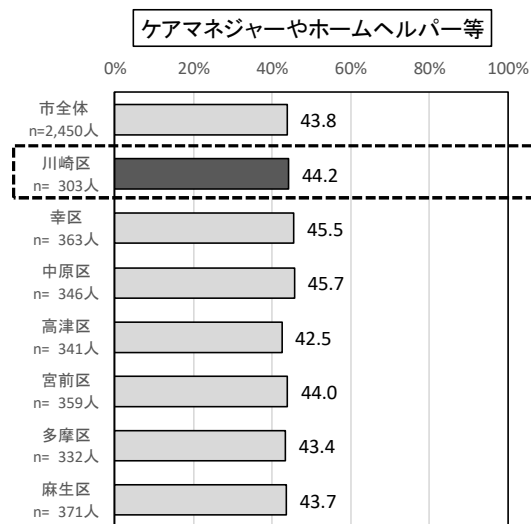
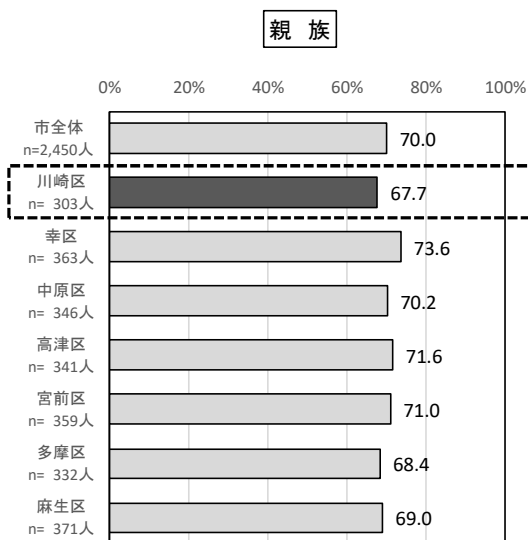
問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（〇は3つまで）

川崎区では、「親族」が 67.7% で市全体（70.0%）を下回っている。

市内6区と比較すると、「親族」（67.7%）は最も低い。また、「ケアマネジャーやホームヘルパー」（44.2%）は3番目に高い。また、「地域の医療機関」は30.4%と3番目に高くなっている。



【参考】

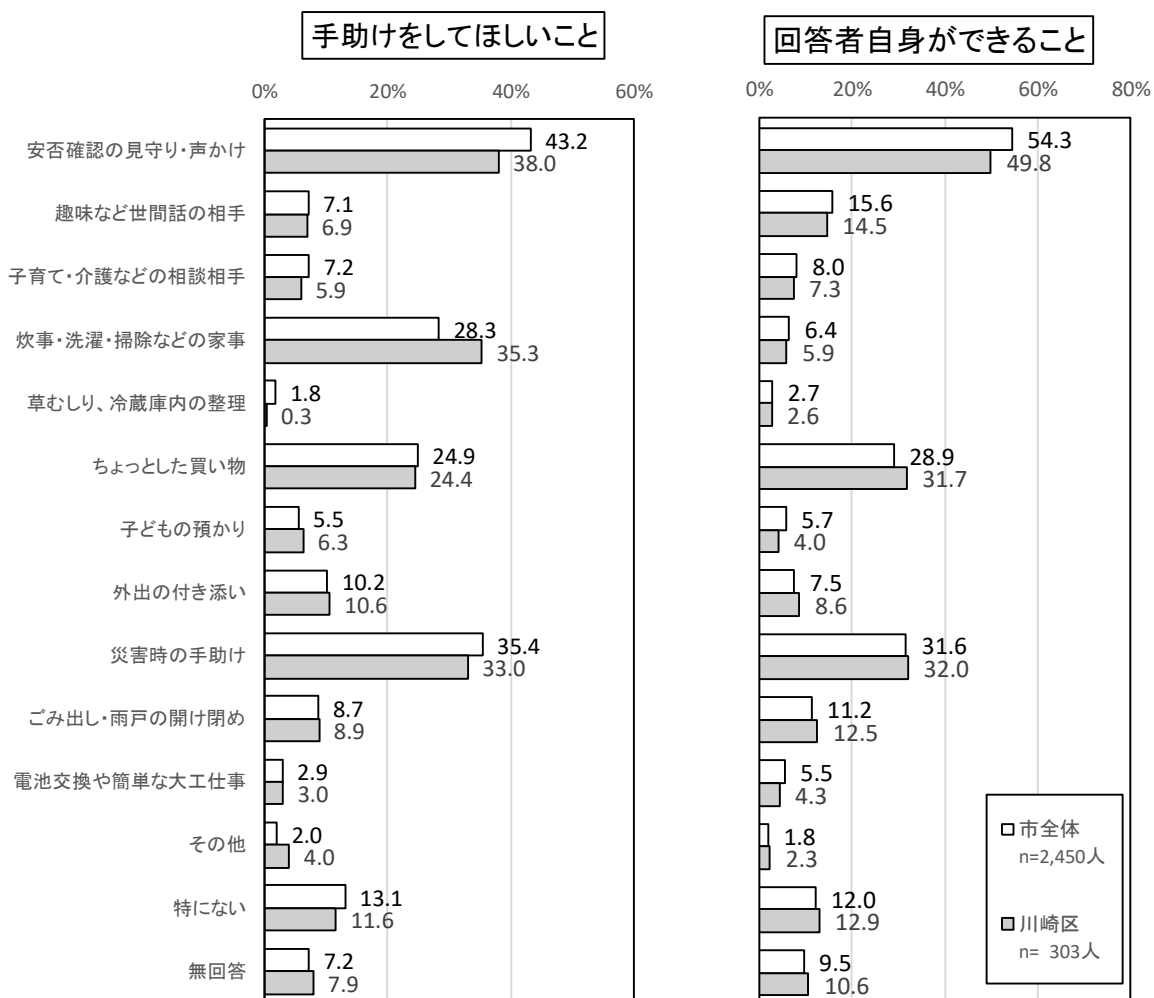




問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(〇は3つまで)

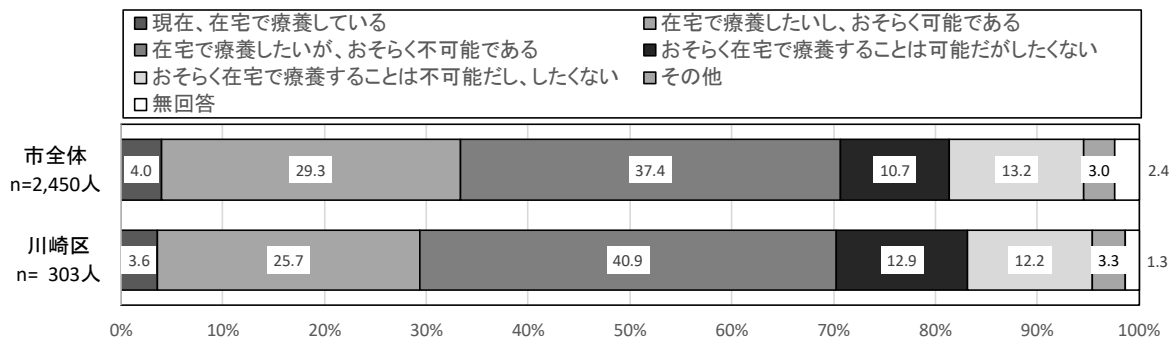
問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(〇は3つまで)

川崎区では、手助けをしてほしいことについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が38.0%で最も高く、次いで「炊事・洗濯・掃除などの家事」(35.3%)、「災害時の手助け」(33.0%)となっており、自身ができることについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が49.8%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(32.0%)、「ちょっとした買い物」(31.7%)となっている。



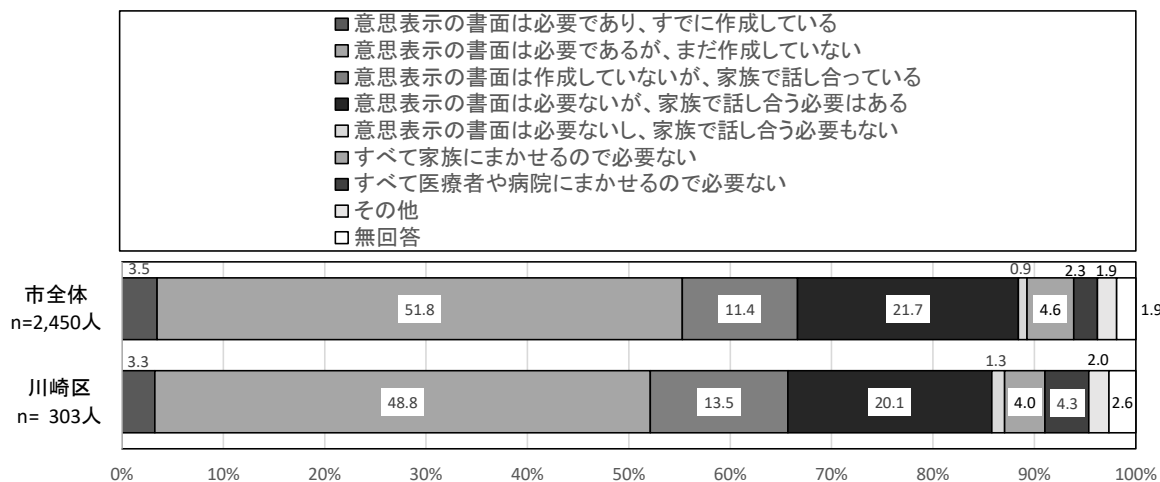
問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。（○は1つだけ）

川崎市では、「在宅で療養したいが、おそらく不可能である」の割合が40.9%で最も高く、次いで「在宅で療養したいし、おそらく可能である」（25.7%）、「おそらく在宅で療養することは可能だがしたくない」（12.9%）となっている。



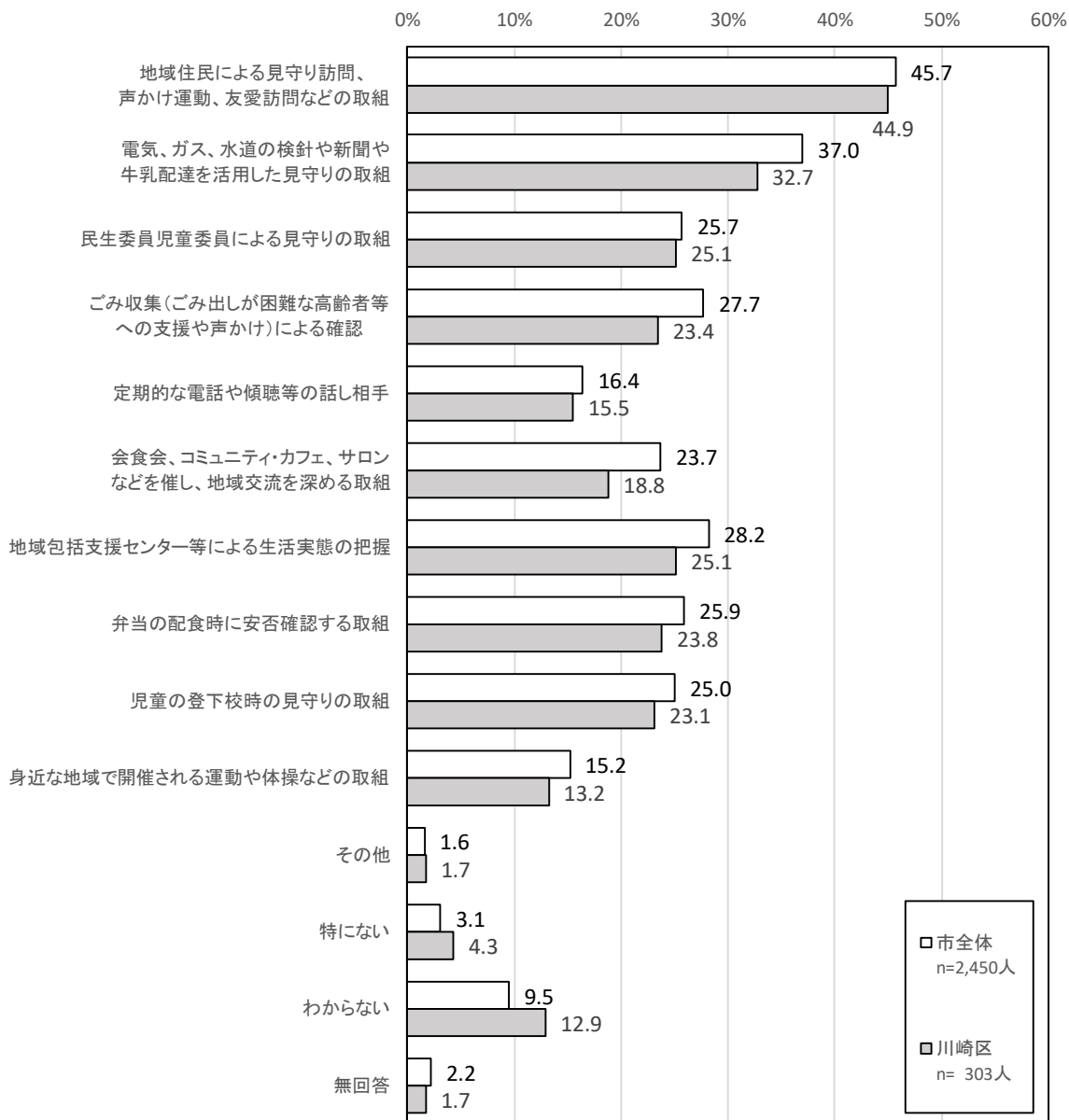
問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

川崎市では、「意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない」の割合が48.8%で最も高く、次いで「意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある」（20.1%）、「意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている」（13.5%）となっている。



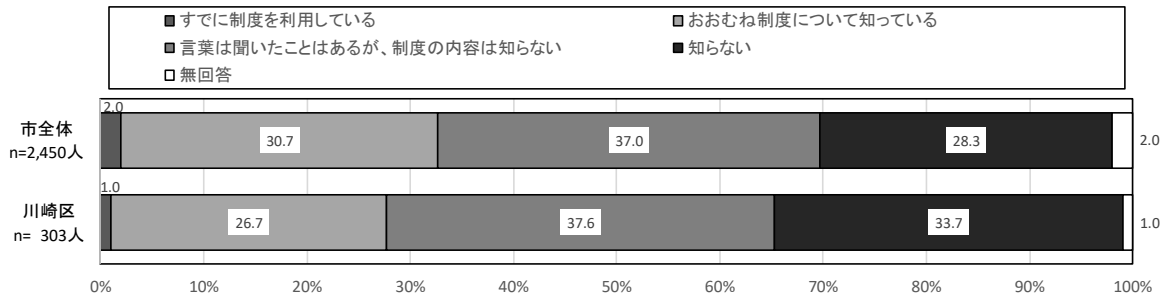
問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（〇は5つまで）

川崎区では、「地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組」の割合が44.9%で最も高く、次いで「電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組」(32.7%)、「民生委員児童委員による見守りの取組」、「地域包括支援センター等による生活実態の把握」(25.1%)となっている。



問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

川崎区では、「言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない」の割合が37.6%で最も高く、次いで「知らない」(33.7%)、「おおむね制度について知っている」(26.7%)となっている。

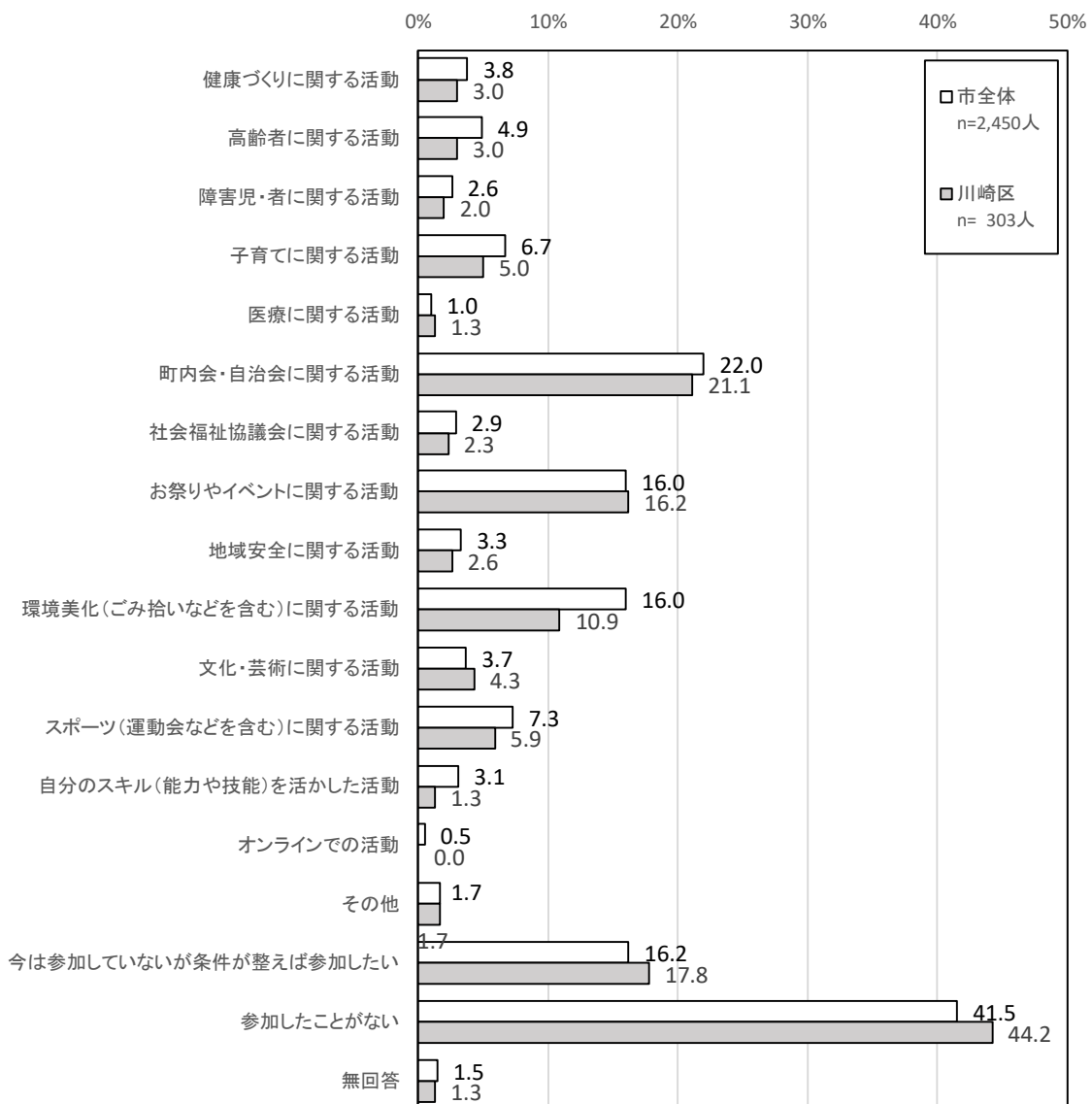


## 4. 地域活動やボランティア活動について

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

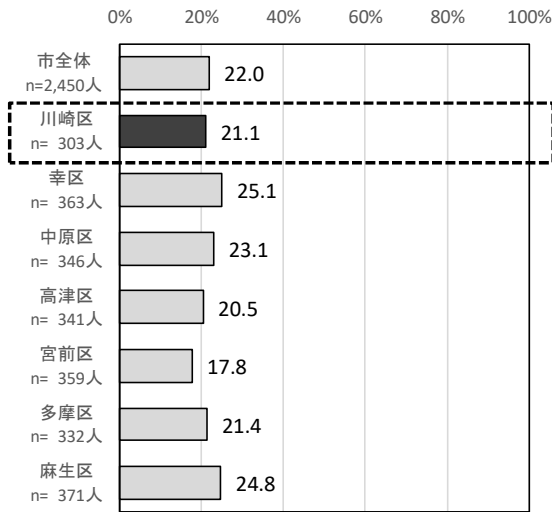
川崎区では、「参加したことがない」の割合が44.2%で最も高く、次いで「町内会・自治会に関する活動」（21.1%）、「今は参加していないが条件が整えば参加したい」（17.8%）となっている。

市内6区と比較すると、「今は参加していないが条件が整えば参加したい」は17.8%、「参加したことがない」の割合は44.2%で2番目に高く、「町内会・自治会に関する活動」（21.1%）は3番目に高くなっている。「社会福祉協議会に関する活動」は、2番目に低くなっている。また、「環境美化に関する活動」の割合は10.9%で最も低い。

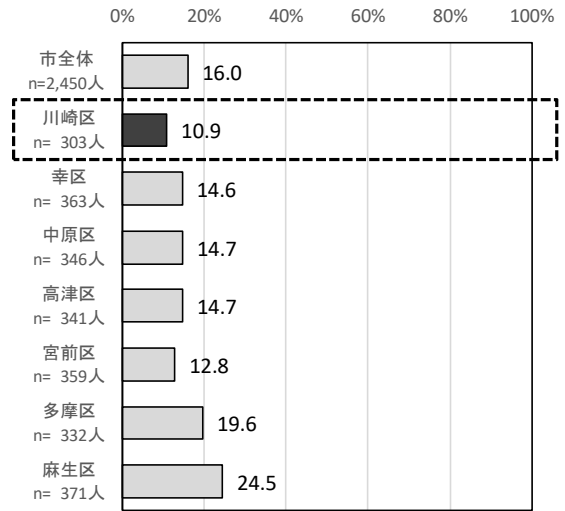


【参考】

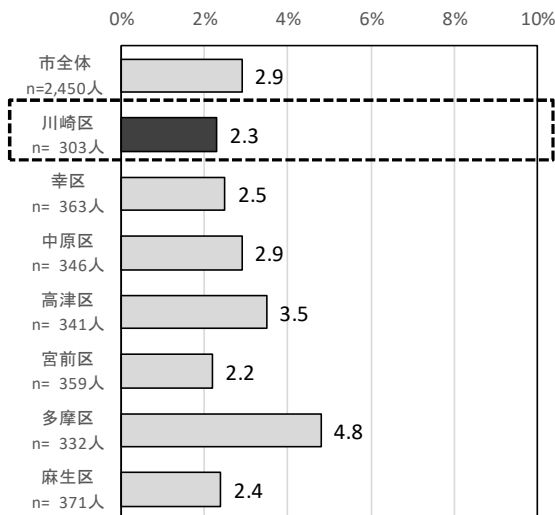
町内会・自治会に関する活動



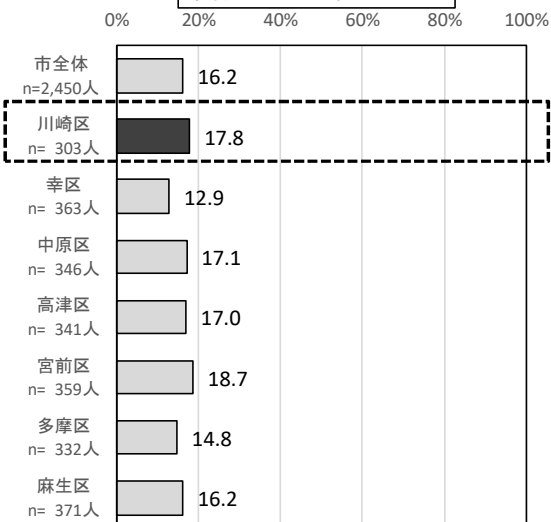
環境美化に関する活動



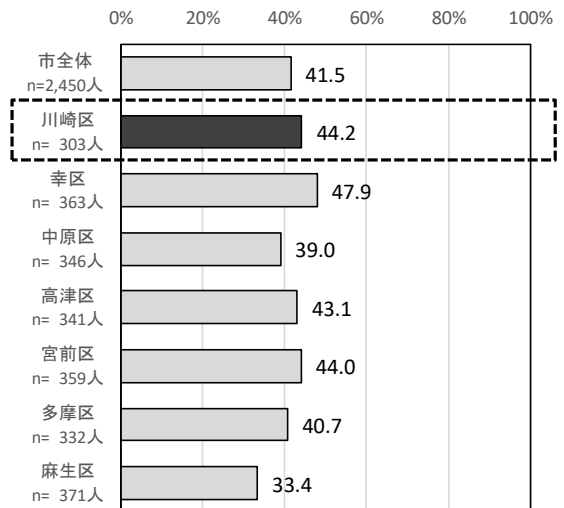
社会福祉協議会に関する活動



今は参加していないが  
条件が整えば参加したい



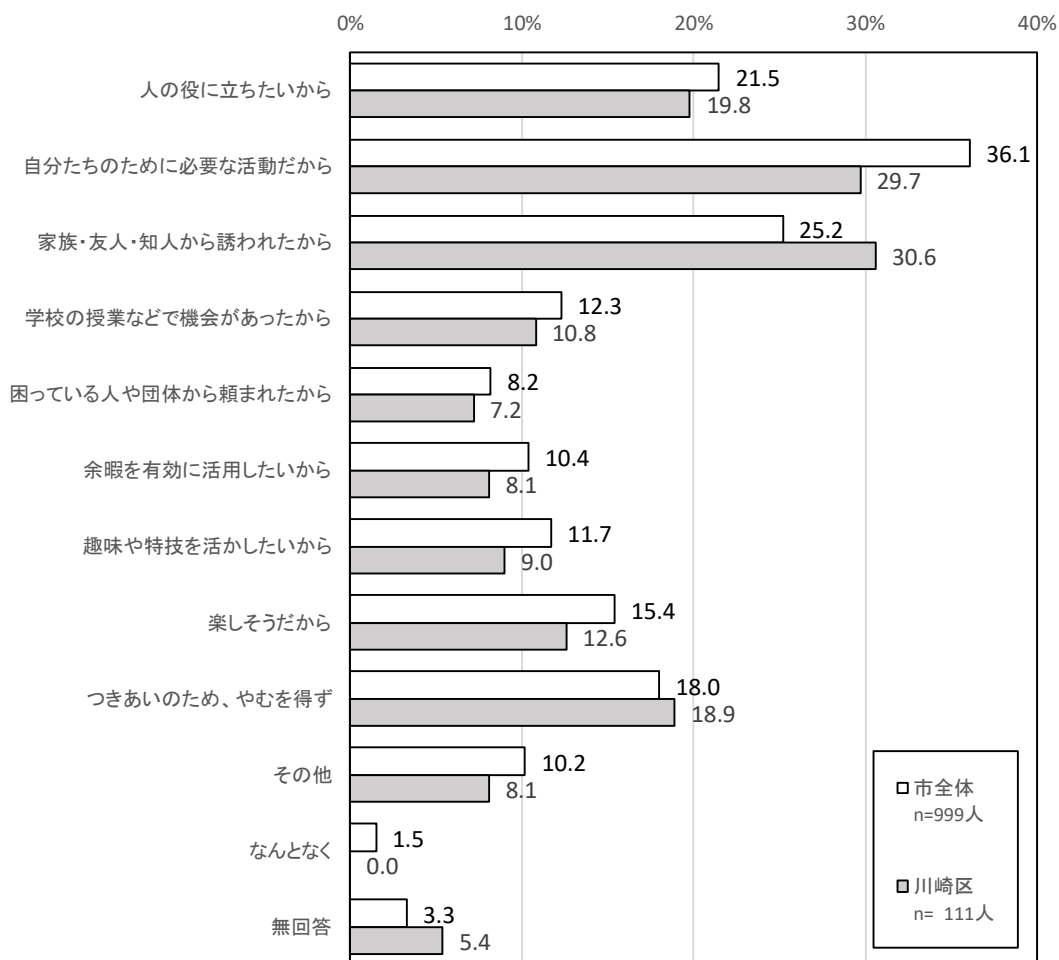
参加したことがない



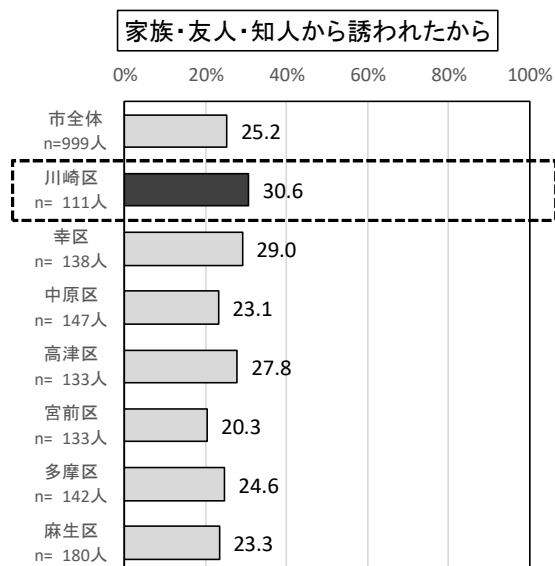
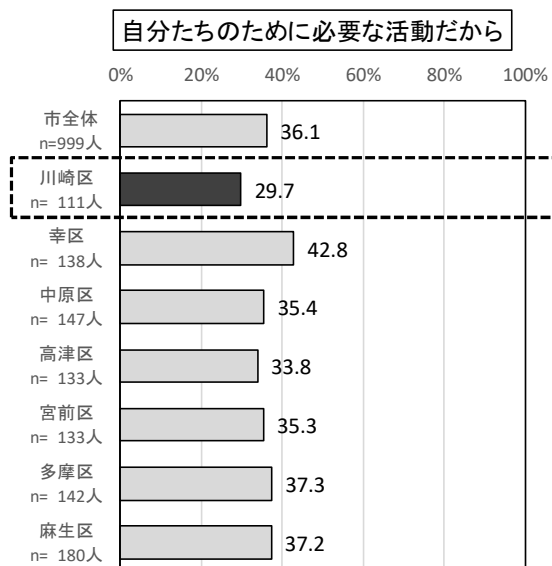
問 30-1 《問 30 で「1」～「13」のいずれか（ボランティア活動に参加したことがある）にお答えの方》活動に参加した動機やきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

川崎区では、「家族・友人・知人から誘われたから」の割合が 30.6%で最も高く、次いで「自分たちのために必要な活動だから」（29.7%）、「人の役に立ちたいから」（19.8%）となっている。

市内 6 区と比較すると、「自分たちのために必要な活動だから」の割合は 29.7%と最も低く、「家族・友人・知人から誘われたから」の割合は 30.6%と最も高くなっている。



【参考】

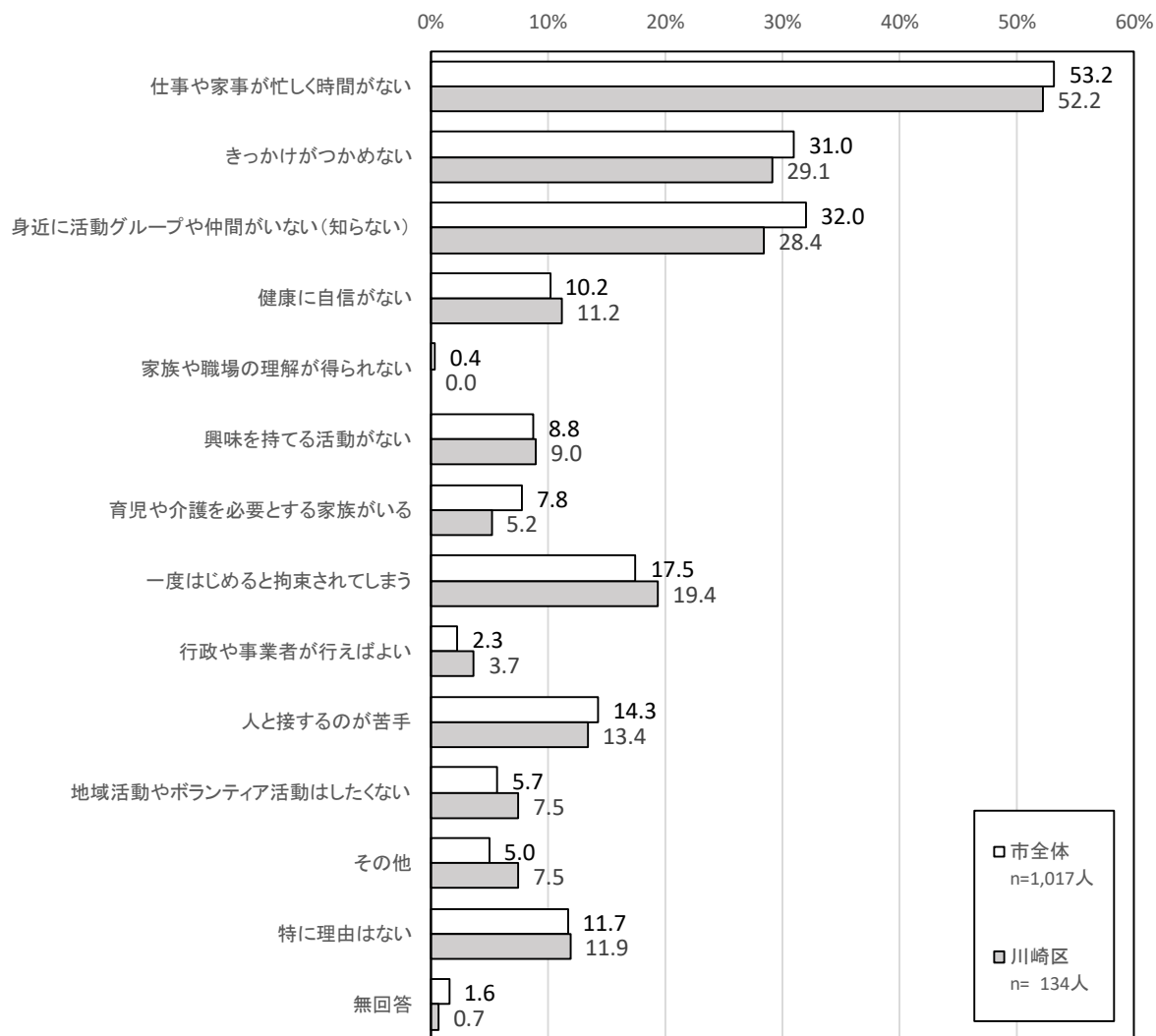


問 30-6 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

川崎市では、「仕事や家事が忙しく時間がない」の割合が 52.2%で最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(29.1%)、「身近に活動グループや仲間がいない(知らない)」(28.4%)となっている。



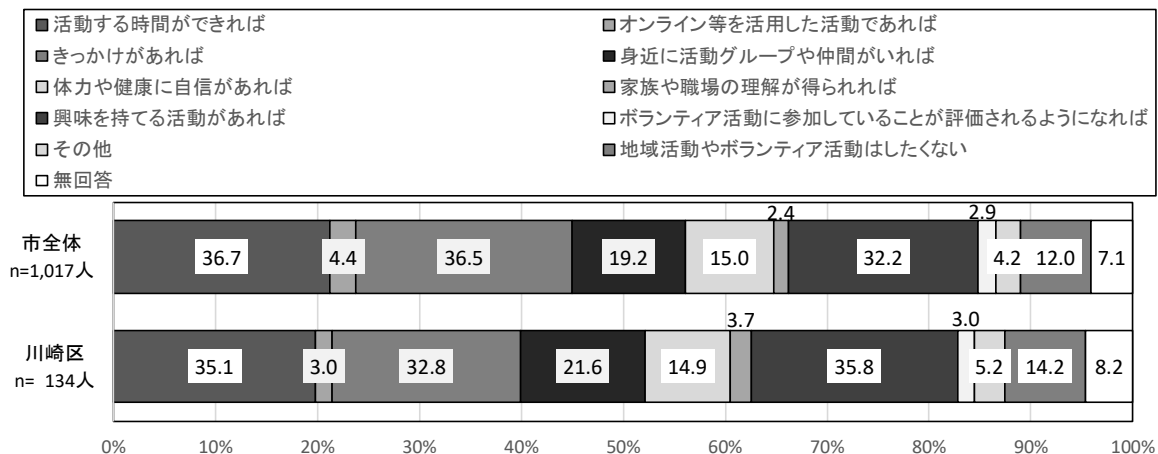


問 30-7 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

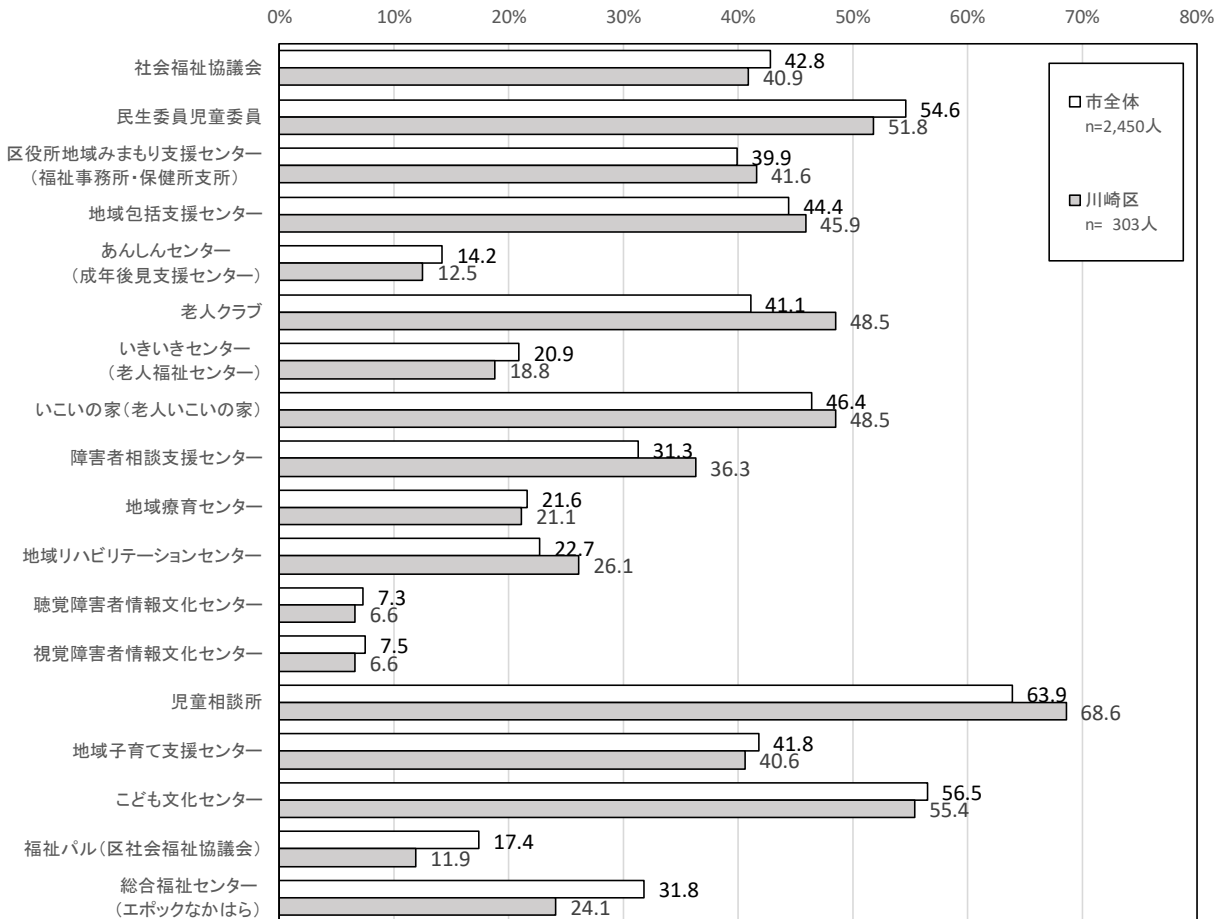
川崎区では、「興味を持てる活動があれば」の割合が 35.8%で最も高く、次いで「活動する時間ができれば」(35.1%)、「きっかけがあれば」(32.8%)、「身近に活動グループや仲間がいれば」(21.6%)となっている。



## 5. 保健・福祉に関することについて

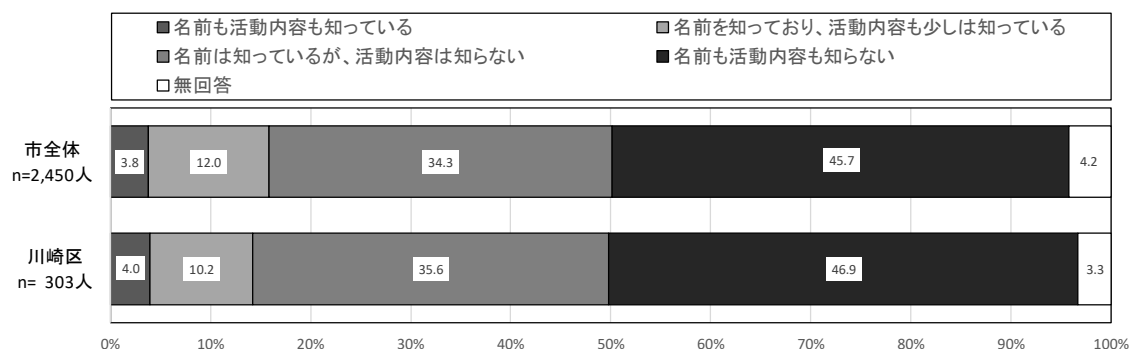
問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。(〇はそれぞれ1つだけ)

川崎区では、「児童相談所」の割合が68.6%で最も高く、次いで「こども文化センター」(55.4%)、「民生委員児童委員」(51.8%)となっている。



問 32 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存知ですか。（〇は1つだけ）

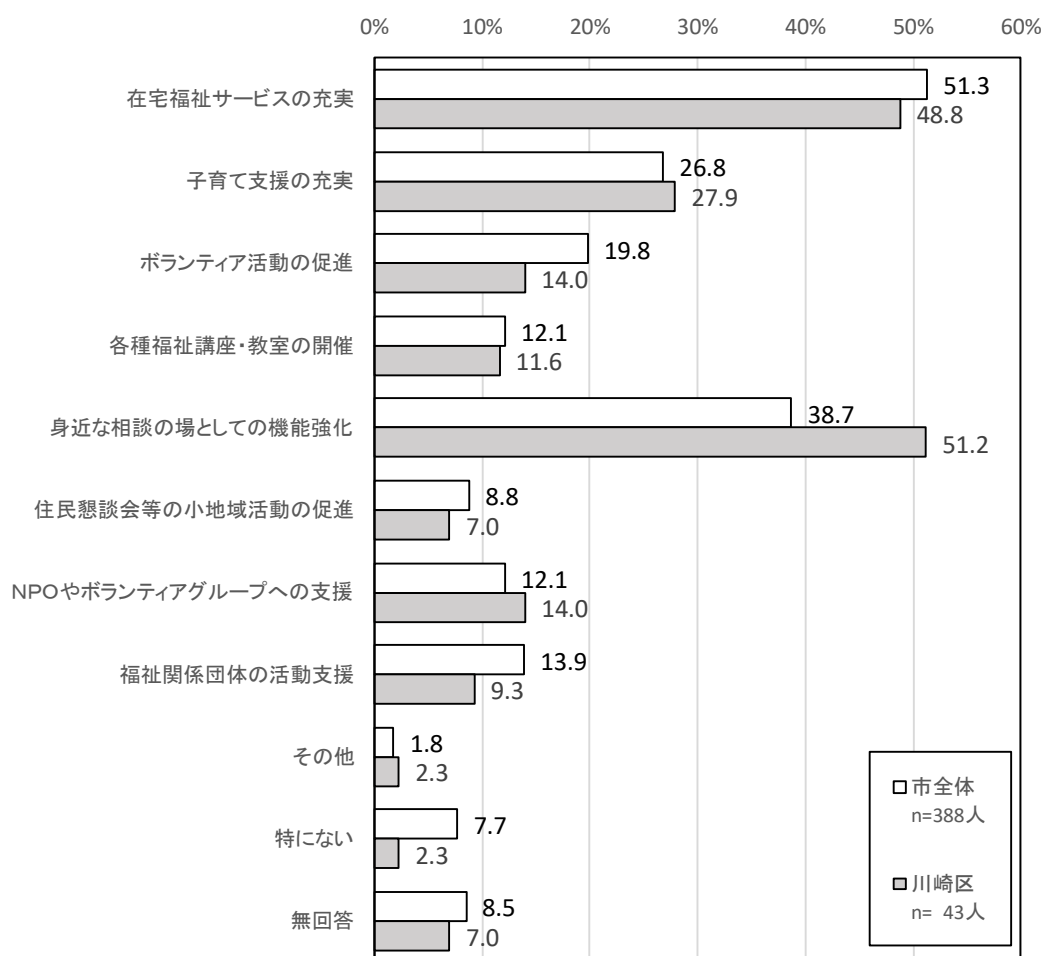
川崎区では、「名前も活動内容も知っている」、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」の合計が14.2%で、市全体（15.8%）を下回っている。



問 32-1 《問 32 で「名前も活動内容も知っている」、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」にお答えの方》

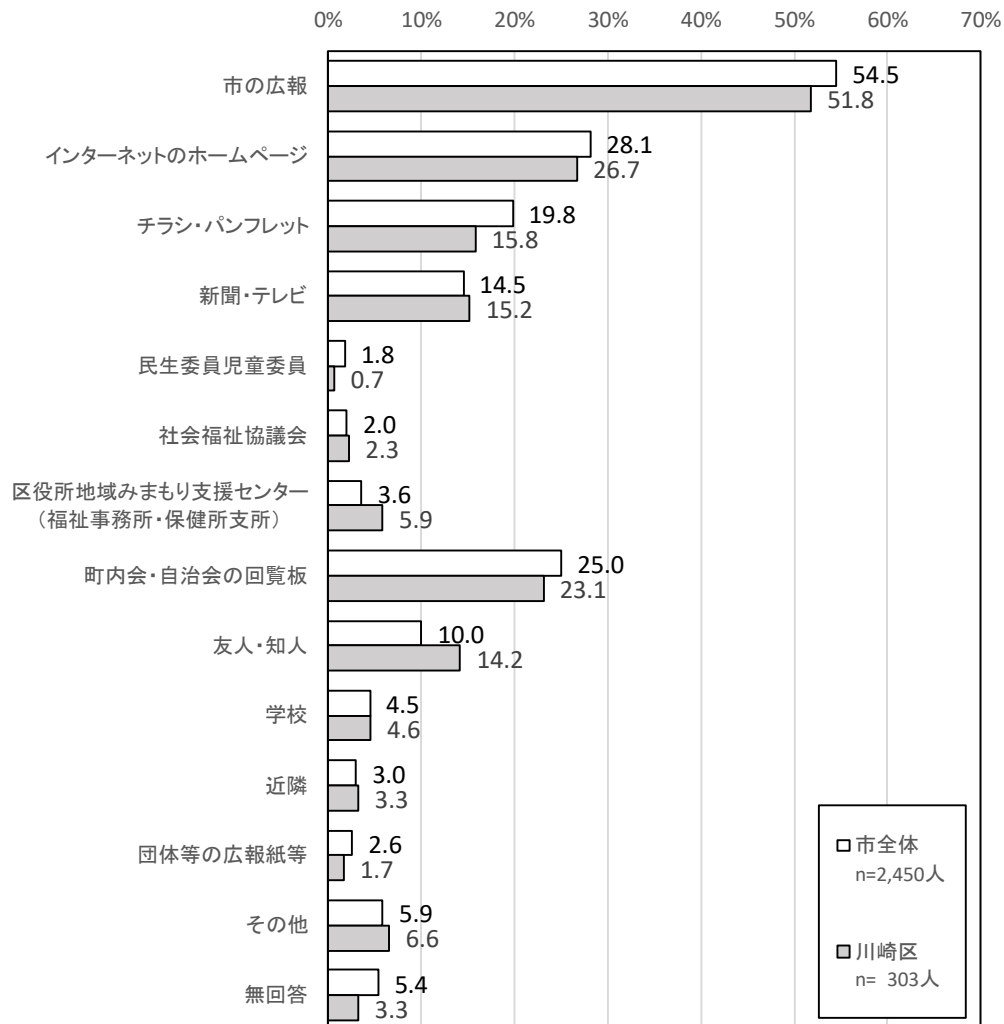
あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。（〇は3つまで）

川崎区では、「身近な相談の場としての機能強化」の割合が51.2%で最も高く、次いで「在宅福祉サービスの充実」（48.8%）、「子育て支援の充実」（27.9%）となっている。



問 33 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

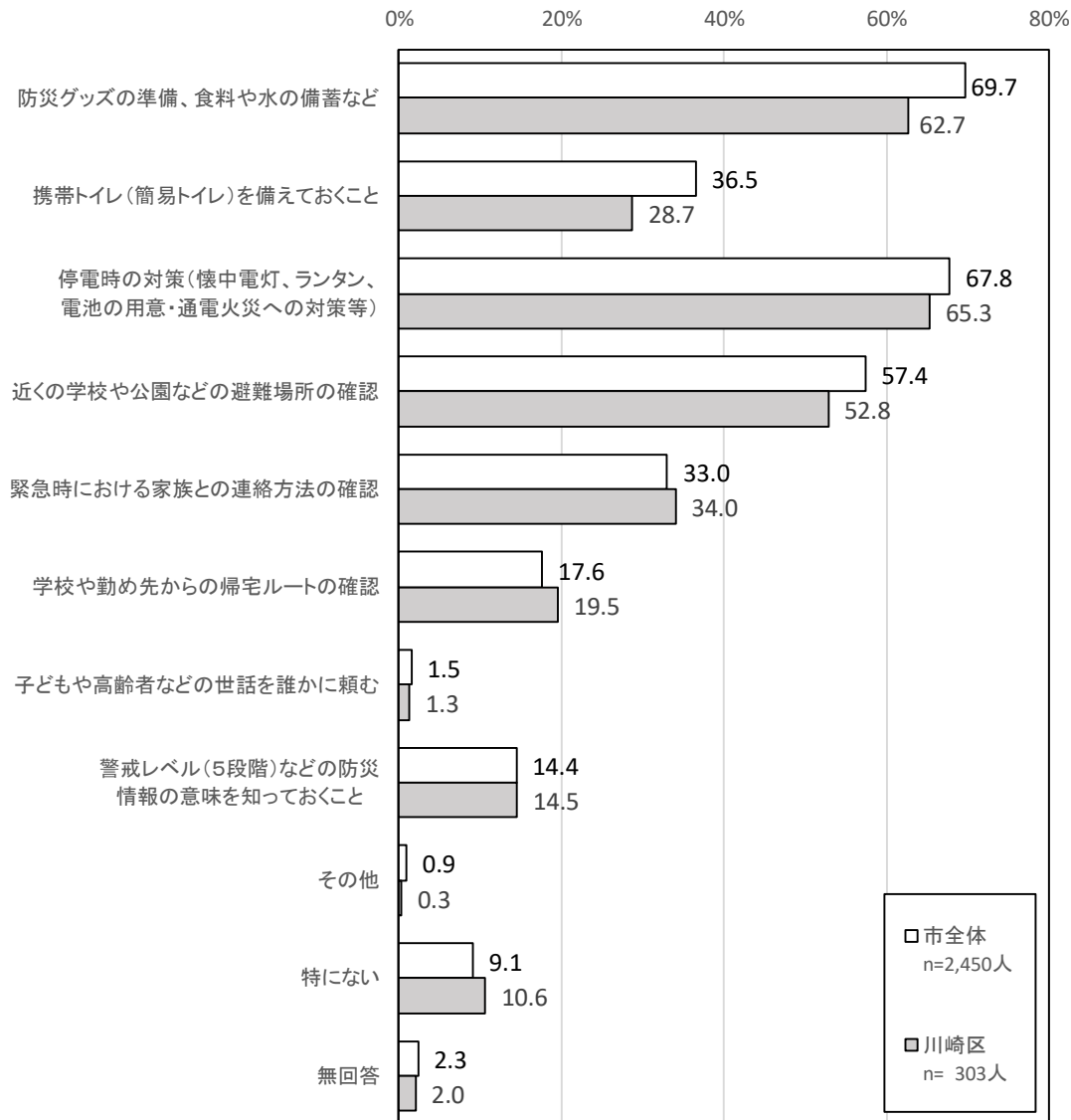
川崎区では、「市の広報」の割合が51.8%で最も高く、次いで「インターネットのホームページ」（26.7%）、「町内会・自治会の回覧板」（23.1%）となっている。



## 6. 防災に対する意識と備えについて

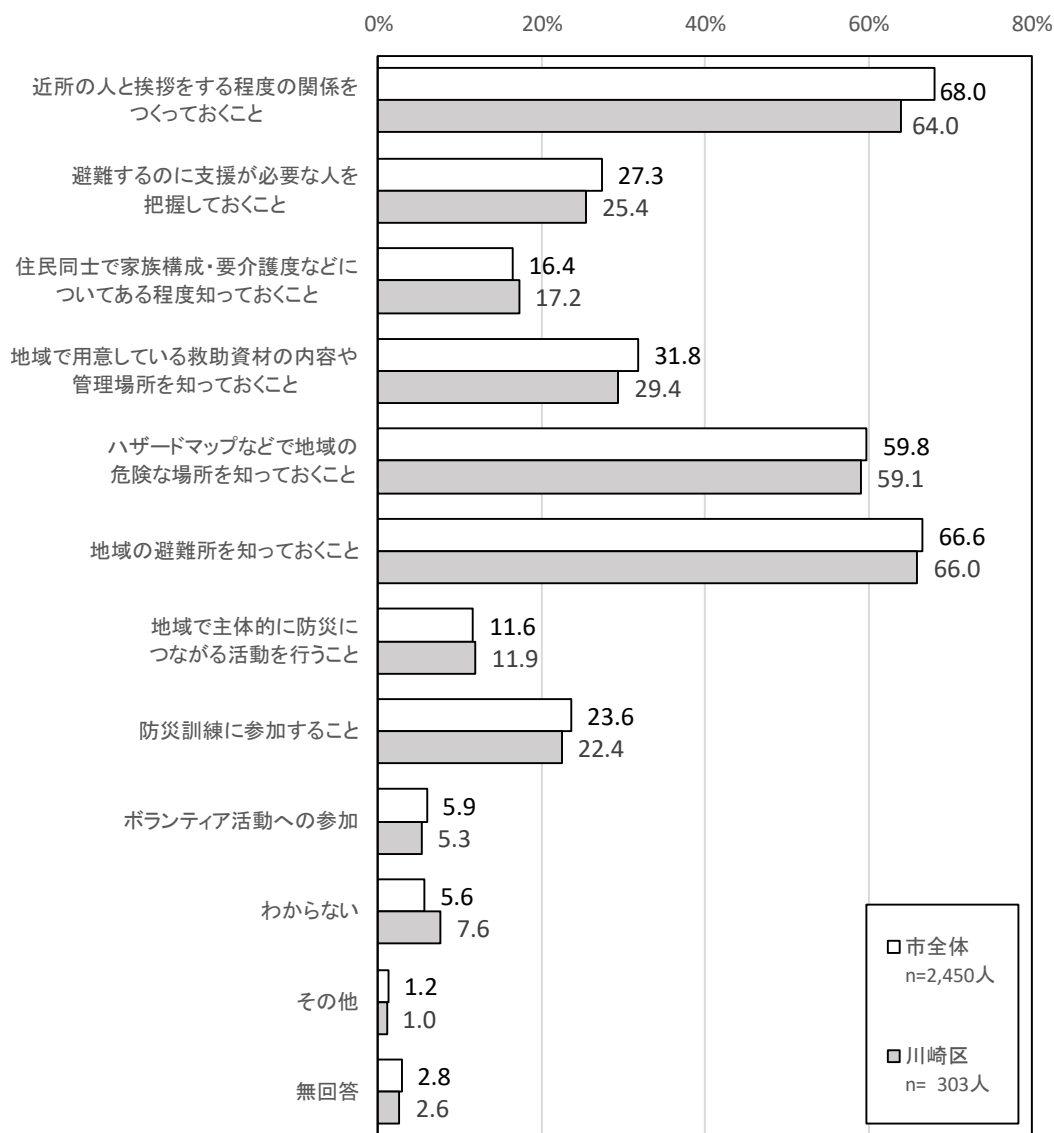
問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

川崎区では、「停電時の対策(懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等)」の割合が65.3%で最も高く、次いで「防災グッズの準備、食料や水の備蓄など」(62.7%)、「近くの学校や公園などの避難場所の確認」(52.8%)となっている。



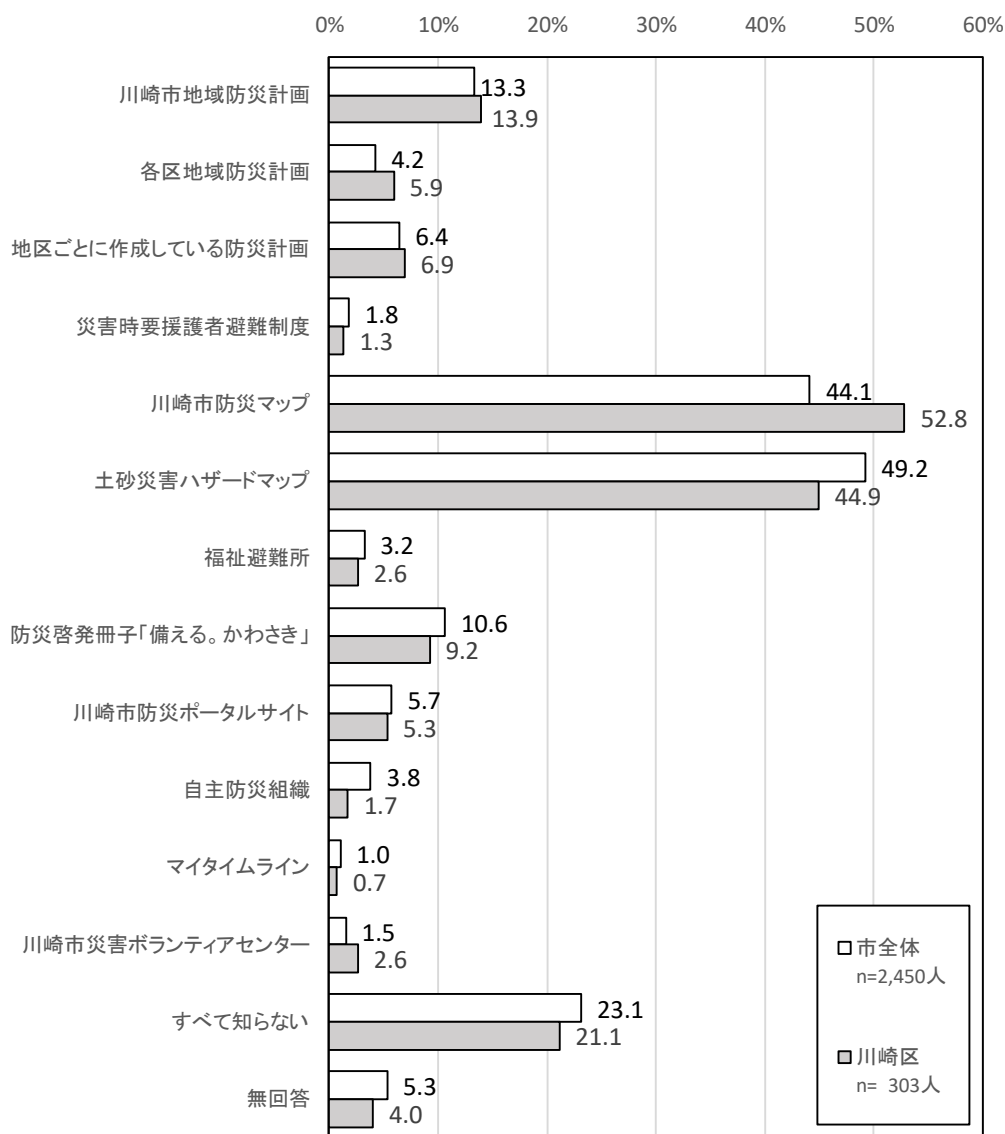
問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）（新規設問）

川崎区では、「地域の避難所を知っておくこと」の割合が66.0%で最も高く、次いで「近所の人と挨拶をする程度に関係をつくっておくこと」（64.0%）、「ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと」（59.1%）となっている。



問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）  
 （新規設問）

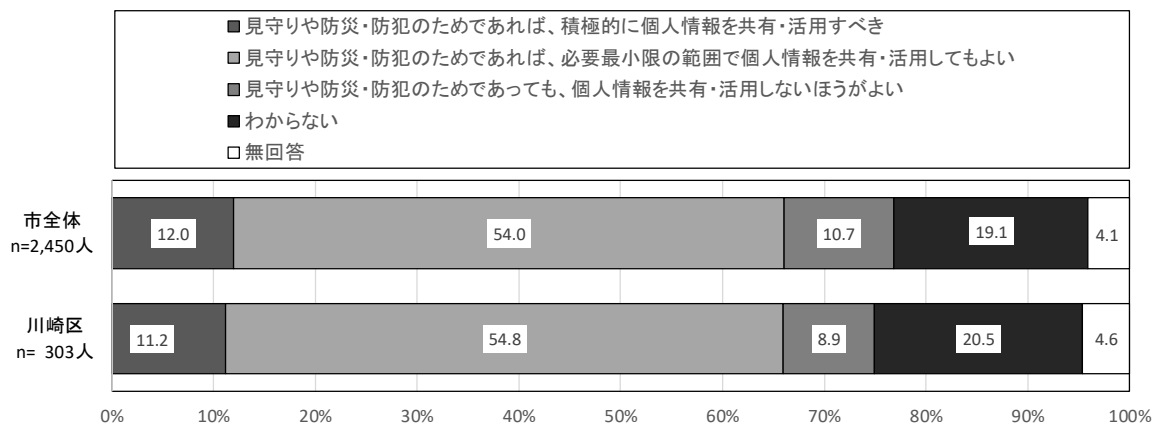
川崎区では、「川崎市防災マップ」の割合が52.8%で最も高く、次いで「土砂災害ハザードマップ」（44.9%）、「すべて知らない」（21.1%）となっている。



問 38 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。

(○は1つだけ)

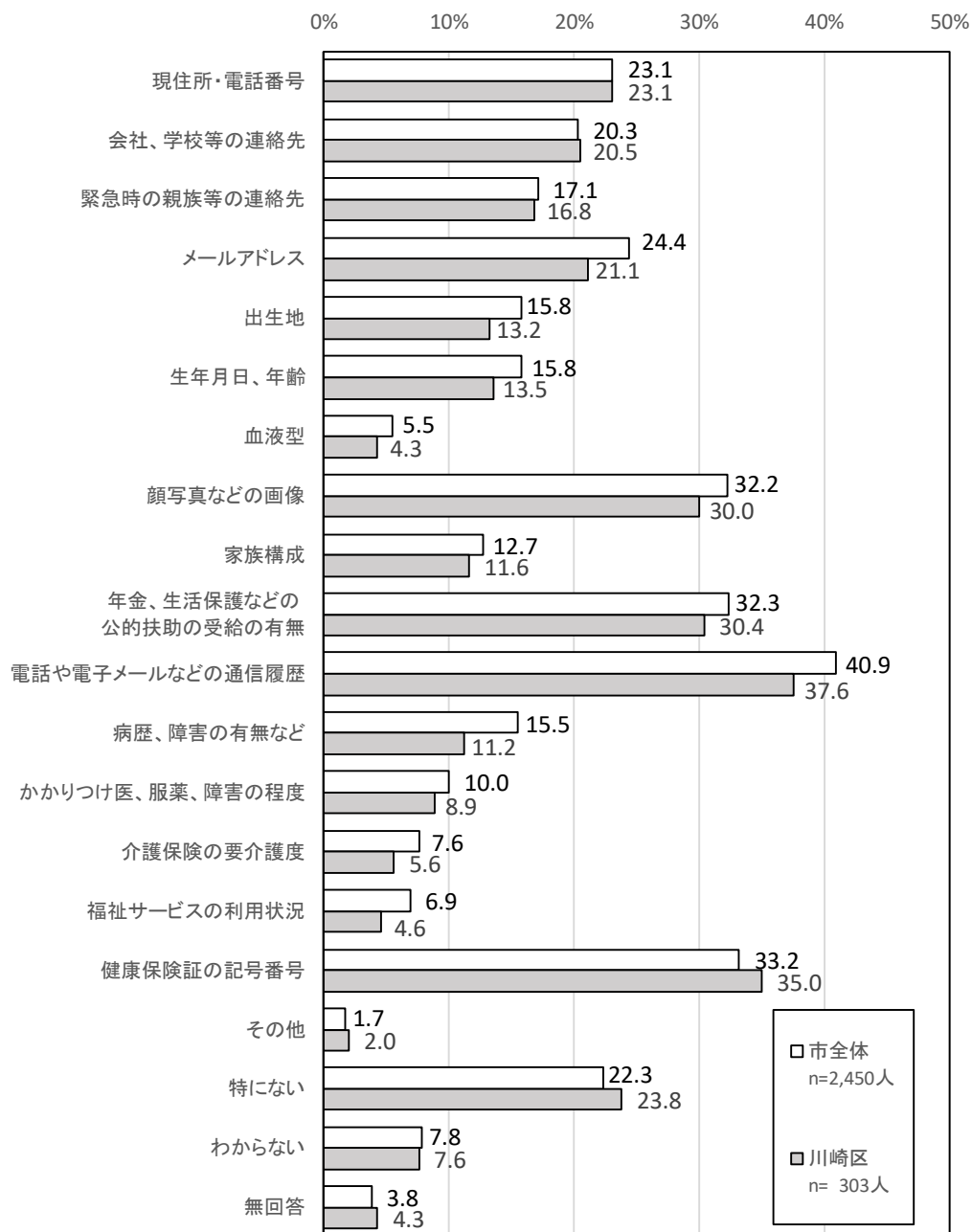
川崎区では、「見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」、「見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」の合計が66.0%となっている。





問 39 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたいくないものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

川崎区では、「電話や電子メールなどの通信履歴」の割合が37.6%で最も高く、次いで「健康保険証の記号番号」(35.0%)、「年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無」(30.4%)となっており、そのうち「健康保険証の記号番号」のみ市全体を上回っている。

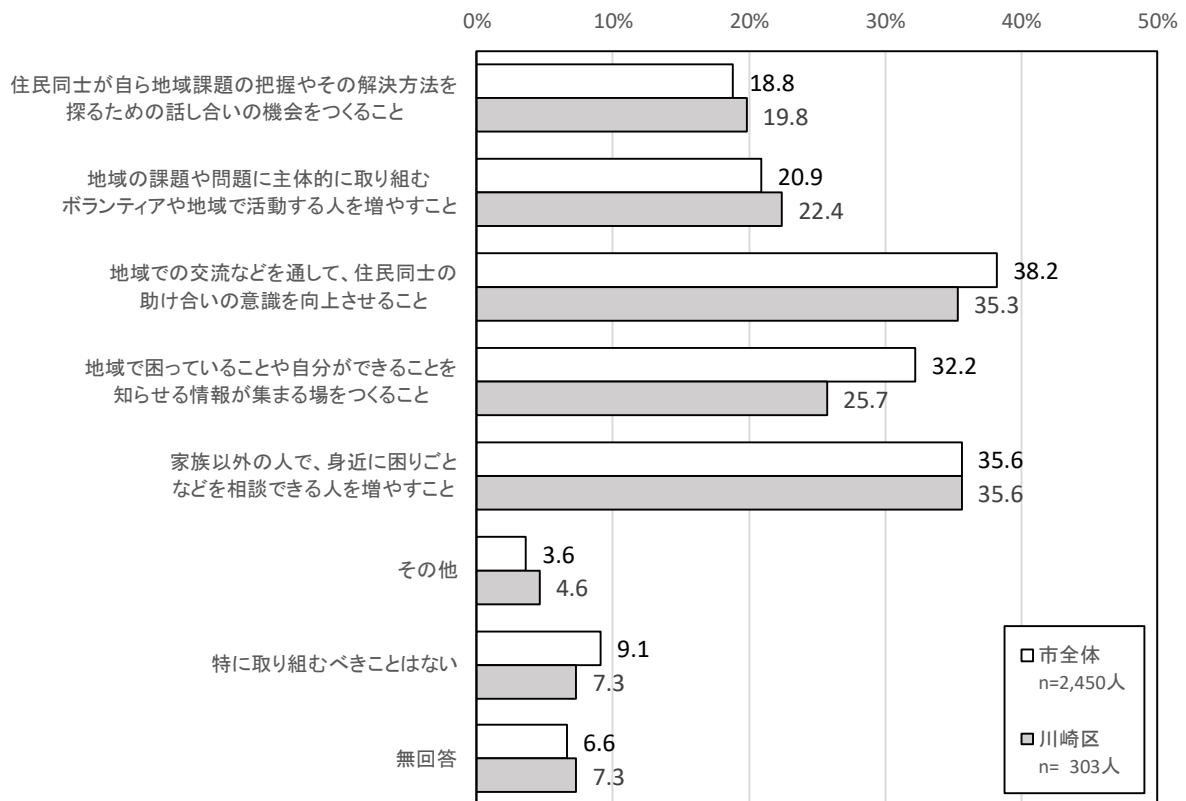


## 7. 今後の地域福祉の推進について

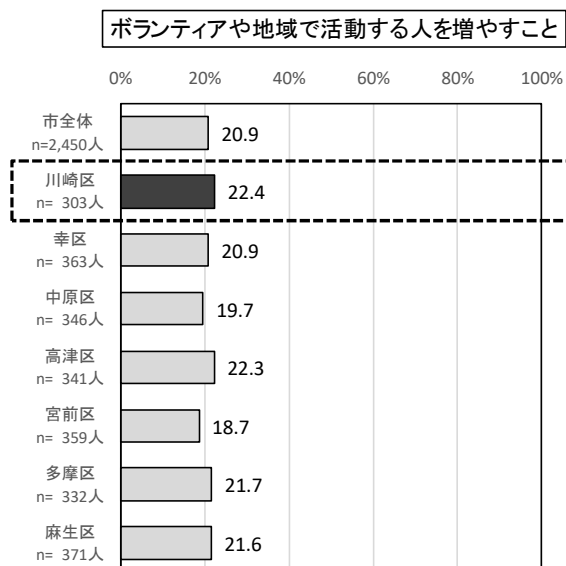
問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

川崎区では、「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」の割合が35.6%で最も高く、次いで「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」（35.3%）、「地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること」（25.7%）となっている。

市内6区と比較すると、「地域の課題や問題に主体的に取り組むボランティアや地域で活動する人を増やすこと」については、22.4%で最も高い。



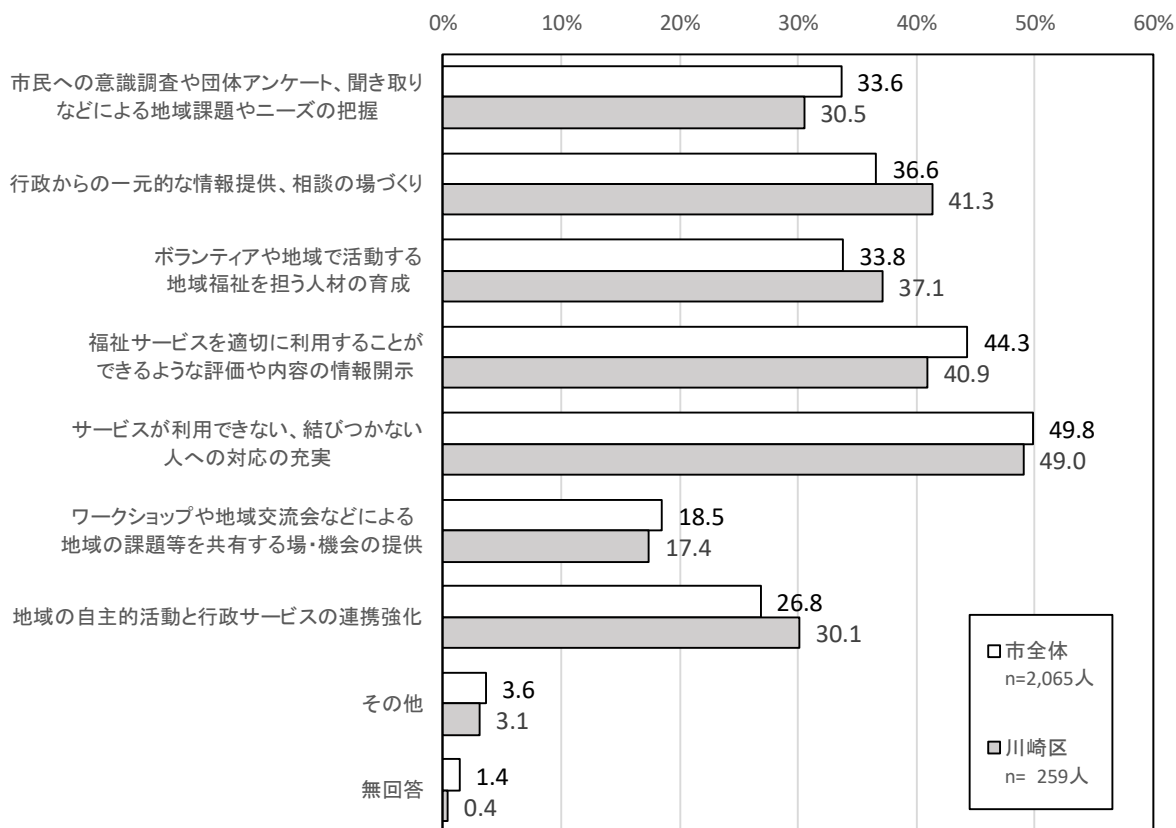
### 【参考】



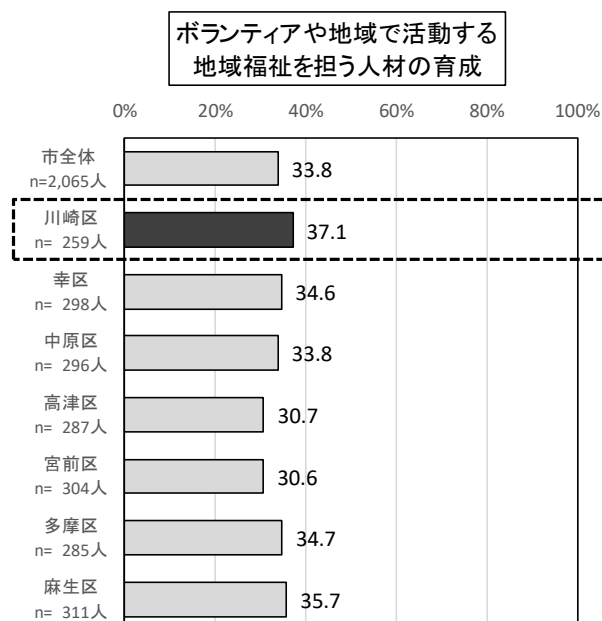
問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

川崎区では、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」の割合が49.0%で最も高く、次いで「行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり」（41.3%）、「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」（40.9%）となっている。

市内6区と比較すると、「ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成」については37.1%で最も高い。



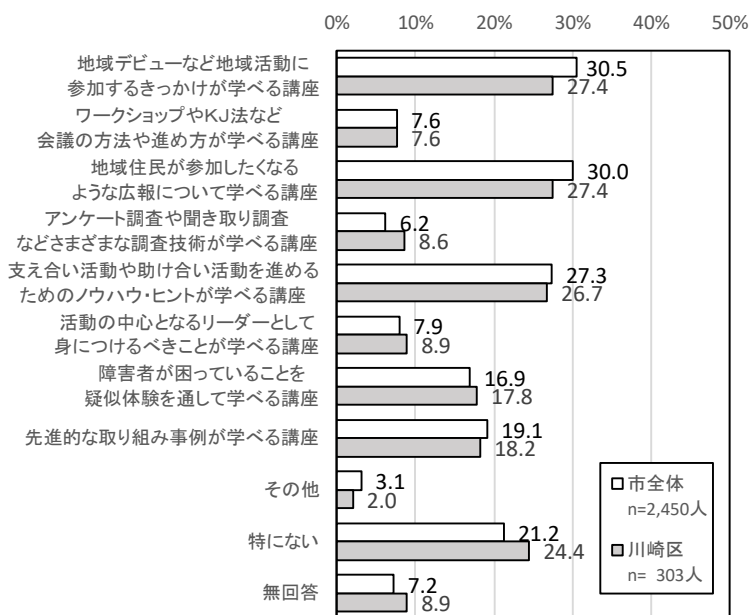
【参考】



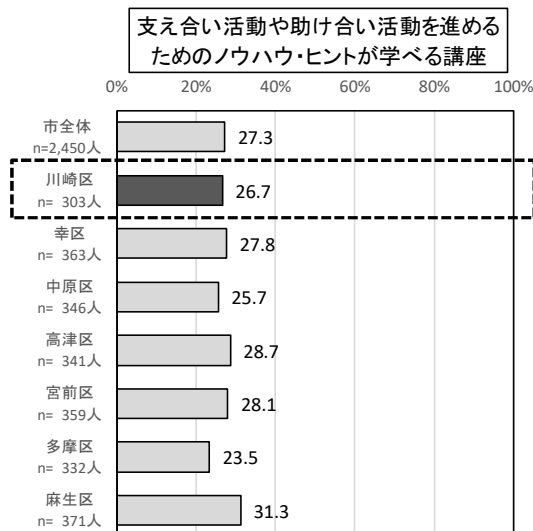
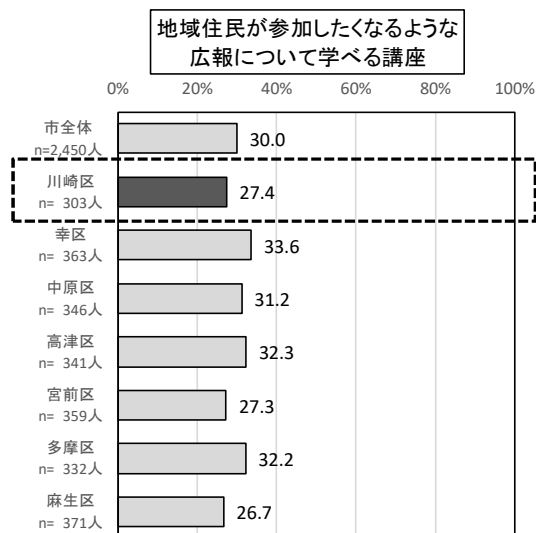
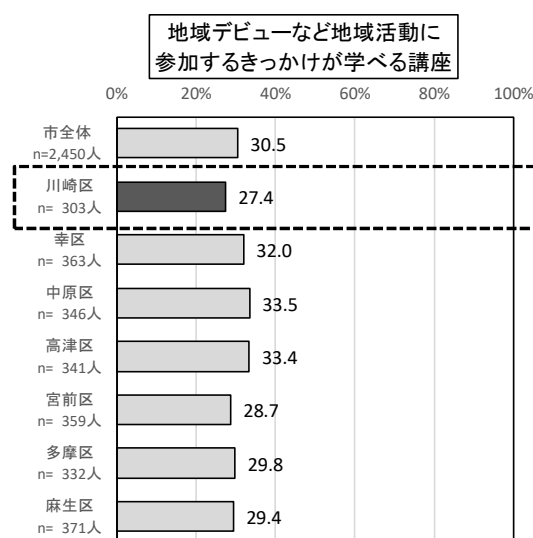
問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

川崎区では、「地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座」、「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」が27.4%で最も高い。

市内6区と比較すると、「地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座」（27.4%）は最も低い。また、「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」（27.4%）、「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座」（26.7%）は3番目に低い。

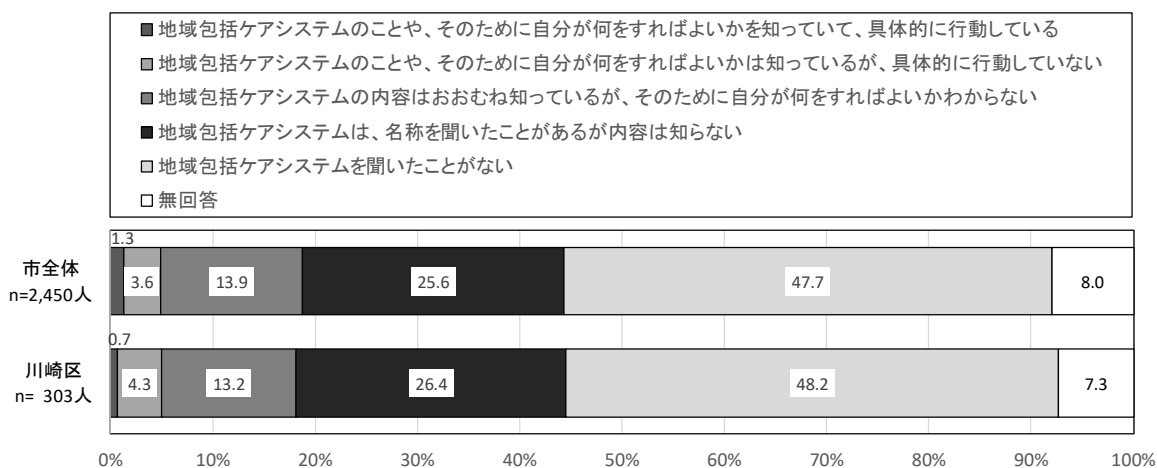


【参考】



問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。  
 (○は1つだけ)

川崎区では、「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」の割合が48.2%で最も高く、次いで「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」(26.4%)、「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」(13.2%)となっている。

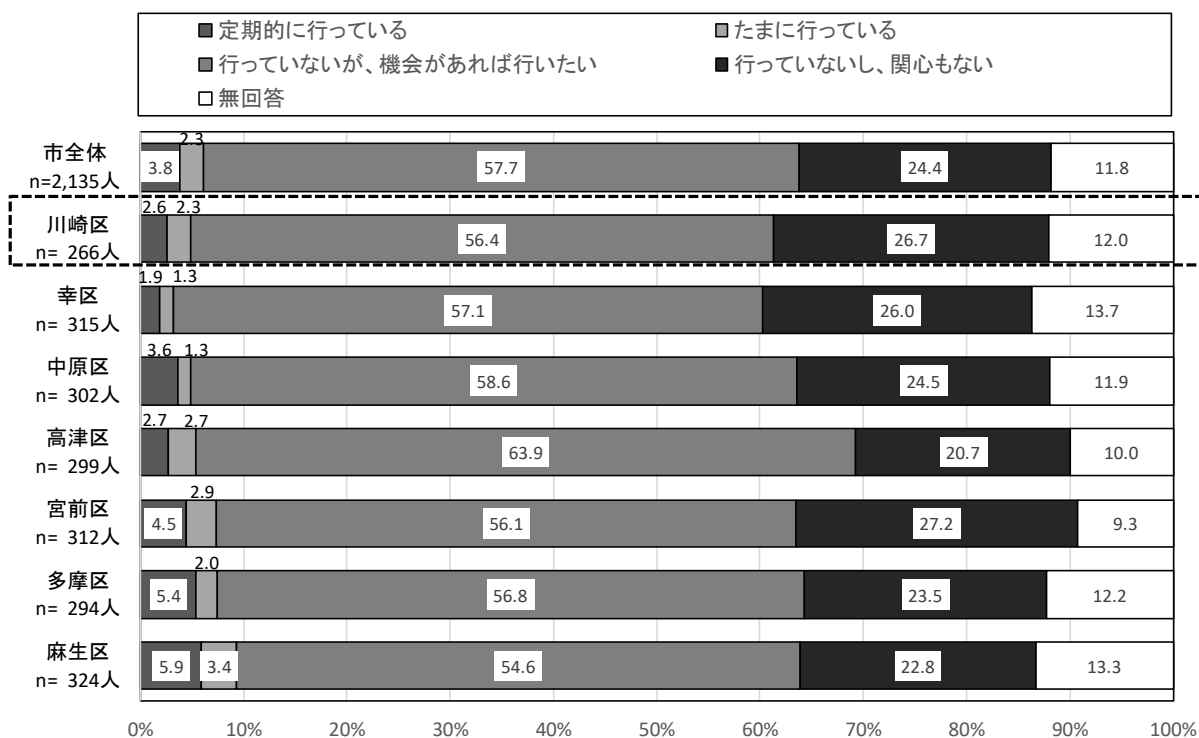


問 44-1 《問 45 で「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」にお答えの方》

地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。(〇は1つだけ)

川崎区では、「定期的に行っている」、「たまに行っている」の割合の合計が 4.9%で市全体(6.1%)を下回っている。

市内6区と比較すると、「定期的に行っている」、「たまに行っている」の割合の合計は2番目に低くなっている。また、「行っていないし、関心もない」の割合は26.7%で2番目に高い。



## 8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます

### (1) 地域で問題になっていること

地域で問題になっていることとしてあげられた意見は、次のとおりである。

#### ■ 地域で問題になっていること

意見の内容	件数
1. 子どもに関する問題	12
2. 地域防犯・防災に関する問題	16
3. 高齢者に関する問題	13
4. 地域のつながりに関する問題	15
5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題	6
6. 障害児・者に関する問題	3
7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題	2
8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題	4
9. 健康づくりに関する問題	0
10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題	1
11. その他	3

### 1. 子どもに関する問題（12件）

#### 区役所管内

	内容
1	遊び場（ボール遊び禁止の公園ばかり）。
2	近隣に保育園・小学校等があり、子ども達が多くいると感じているが、子どもに対してのサポートが少ない…というか何をしているのか把握できていない。
3	平日、近場に公園がないので、子どもが引きこもりがち。
4	貧困や子育て問題。

#### 大師支所管内

	内容
1	保育園の預け先が決まるか不安。
2	保育所の保育料が高いため、子どもを産みにくいと感ずる。保育所の入所率が100%に満たない事も同様。
3	奇声を上げる子どもを度々見かける。親のしつけや学校の指導の問題なのか？子ども自身に問題が隠れているのか？大らかな気持ちで見守りたい一方実際にうるさく不快です。（公共の場やスーパー店内での父母と同伴の子ども。隣の大規模マンション住民宅の子ども。登下校の小学生（小学生は不用意に防犯ブザーを鳴らす行為もある）。

#### 田島支所管内

	内容
1	放任主義が多くトラブルがおきた際など困る。
2	子どもが多い家庭への子育て支援や、サービスが充実していない。少子化が進み、クラスの減少や、廃校が増えるのではないかと不安。金銭面でも負担が多い。

	内容
3	周囲に不登校の子が多いが、学校のカウンセラーの人員が不足している（すぐに相談できず、待ち時間があると聞いている）。あまり近所付き合いがないので、中にこもっている困った人たちの実態が見えてこない。
4	深夜に子どもが出歩いている。
5	公園など屋外の遊び場が少ないため、商業施設に子どもが集まってしまう。

## 2. 地域防犯・防災に関する問題（16件）

### 区役所管内

	内容
1	学校からの下校は、車、人通りが少ない道路なので、帰宅までとても不安になります。
2	小学校（低学年）が車道まで出て大騒ぎで遊んでいる。暗くなっても帰らずに遊んでおり、遅い時は19時頃まで騒いでいる。深夜に若者？数人が外で集まり、大声で会話していることがたびたびある（数分～1時間以上の時も）（近所で何か悪い事をされるのではないかと不安になる）。
3	ごみの放置。共同使用の通路近辺に空き缶の山があり、その他ごみも大量に放置されている為、臭いや、放火が心配。又、夜間22時前後の、騒音問題（バイク音、店舗客の話し声等）。
4	不審者が多い（2件）。ごみの不法投棄や破損等。
5	夜間、公園内、外で大声で騒いだり、エンジンを掛けっぱなしでの駐車。

### 大師支所管内

	内容
1	子ども、その親の自転車などの交通ルール。一方通行道路における逆走。
2	川崎市での防犯面の事件（ちかん、声かけ、刃物など）夜の暴走族の方の走る音。
3	子どもへの声かけ等、不審者への対応。
4	不良、ガラの悪い人がいる事。
5	地元出身ではないので、地域について知らないことが多い。あまり治安がよくないと聞くので子育てが不安。
6	近所に、大きな交差点のところで歩道が切れるところがある。通学時の付きそい。
7	となりでボヤがおこった時となりから何も言われなかった。
8	東京と比べ、道の電灯等暗い気がする。東京の区ではニューヨークをまねて、美化して努めたため、犯罪件数が激減したように、当地域も美化に努めるべきだと感じている。
9	交通ルールを守らない自転車運転者が多い。住民参加の防災訓練が全く行われていない。

### 田島支所管内

	内容
1	小学校の通学路に飲み屋があり、昼間からよっぱらって騒ぐ人がいる。
2	マンション住まいですが、マンション以外の方が、自転車等を駐輪している事がある。私の住んでいるマンションは、管理人がいるし、又、自転車にワッペンを貼る様になっているので、管理している。



### 3. 高齢者に関する問題（13件）

#### 区役所管内

	内容
1	近所に子どもに怒鳴ったり、傘を振り上げて威嚇するような人がいて（おそらく認知症）、子どもが怖がっているが、見守る以外何もできない。
2	マンション等集合住宅に住んでいる場合、後期高齢者・障害者に対しての理解をしてほしい（難しい点多くある）。
3	これからは高齢者の人数が多くなり介護を受ける方も増えると思います。特に一人暮らしの方はデイサービス等の利用や見守りなどが必要になってくると思います。そのためには介護者の人もより多く人が必要になります。

#### 大師支所管内

	内容
1	高齢者が増えているが金銭的に厳しい人が多くとても可哀想。
2	少子高齢化は日本にとって深刻な問題だと思う。
3	高齢者の一人暮らし（安否確認）。異常気象、地震などの防災。
4	デジタル、非対面な生活スタイルが主流となり、同居家族や若い方が身近にいないと高齢者には何も情報もなく、全く世間との接点がなくなると感じた。
5	夜中に親がたおれたり、不在中に親具合が悪くなったりした時、二人暮らしのため、気付けない。
6	マンション等だと、特に高齢者は引きこもりがちになるのではという不安がある。
7	一人暮らしの方や、高齢の方が増えたり、空家も目立つようになった気がします。
8	まだ身体を動かせるが、夫婦で動けなくなった時、日々の買い物等助けていただけるか。

#### 田島支所管内

	内容
1	自治会の役員の高齢化。加入者も高齢者が多い。
2	A L Sの父を茨城へ毎週介護で通ったところは地獄でした。父は5年の闘病の後に亡くなったが、脳梗塞の母を同居で介護してもう10年になります。要介護は4ですが、ケアマネなど地域の皆様に助けられて今に至っています。

### 4. 地域のつながりに関する問題（15件）

#### 区役所管内

	内容
1	近所付き合いがしたくても相手との距離感がわからない。年配の方にグイグイ話しかけられ、子どもが困っているのに相手にはわかってもらえない。あいさつはするが、その後長くなるのでつい希薄になってしまいがち。
2	コロナ以前みたくもっと地域のイベントがあった方がよい。
3	集合住宅や新規入居・高層マンションが増え、互いに顔を知らない人が多くなっている為、防犯面での不安が若干ある。
4	普段の交流があることによって、変化や支援が必要ではないかということに気づくことができる（困っていることなど）。
5	あいさつはしても名前までは良く知らない。

### 大師支所管内

	内容
1	近所付き合いをする機会がない。
2	あいさつはするが、お互いのことを話すなどのつきあいがなく、近所の人について知る機会がない。老人が多く見受けられる。近所にどのような人がいるのかもわからないため、子どもの安全に不安がいく分感じられる。
3	ごみ処理問題が近所間であり。昔から住んでいる人は、人つきあいが苦手の様で大変。協力的でない。
4	マンション在住です。管理組合が機能していない為、自治体としても全く情報がない。災害の時に心配。
5	マンション全体が、ほぼ子育て世代で、同世代の人との交流のきっかけもなく、近所付き合いがむずかしい。
6	昔からの住民と転入者の融和の違いおよび年輩者と若者との隔たり。
7	月に1回の集会在コロナで3年以上中止になっているので中々みんなと会う事が出来ない。近所付き合いがない。

### 田島支所管内

	内容
1	近所の方をほとんど知らない。地域活動など一部の方で行われているので町内参加は募金のみ。玄関先に電線が通っているのでムクドリが電信柱4本分程不定期に止まるようになってボタボタとフンが落ちる為、その時家から出られない。
2	近隣にアパートが多く、住んでいる人さえ知らない。
3	近所付き合い。

## 5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題（6件）

### 区役所管内

	内容
1	町がきたない。ごみが多くおちている。
2	子どもがまだ赤ちゃんの頃に役所などに行かないと情報が得られなかったのももう少し簡単に情報が得られると良いと思った。
3	スマホ使えない人達、(パソコンも)が、だんだんと生活しにくくなってる気がします。コロナや、感染症にかかった時、一人暮らしや、ペットが居る人達が安心できる川崎市になってほしいです。
4	地域での課題に関する情報が、管理会社、管理組合経由となるため、迅速かつ適切に入ってこない。

### 大師支所管内

	内容
1	公式ウェブサイトや、メールアドレス、電話番号が分からない。
2	市民が払わなくてはならないものは積極的に情報がくるが受けられる支援については情報が消極的だと思う。ネットのイメージでは役所の対応する人間によって様々で人によっては冷たくあしらわれると感じています。

## 6. 障害児・者に関する問題（3件）

### 区役所管内

	内容
1	障害者雇用の給料の低さ。

### 大師支所管内

	内容
1	障害者の車いす用タクシーや寝台で移動可能な車の利用。発達障害児の理解。

### 田島支所管内

	内容
1	道路が狭く、高齢者や障害者（車椅子）の移動、買い物が困難。公園が狭く、緑もない。語らいや寛ぎができない。

## 7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題（2件）

### 区役所管内

	内容
1	公園がスラム化していて子どもつれて遊びに行くのもリラックスどころかストレスに感じる事がたびたびあるので最近が多摩川を超えて大田区の公園にばかり行くようになりました。東京都の公園はどこも安全でとってもキレイです!!!川崎は本当に不衛生だと思います。

### 大師支所管内

	内容
1	ごみ捨て場を自治体が所有している土地に確保・管理して欲しい。

## 8. 家庭不安や心配ごとをだれにも相談できない人がいるという問題（4件）

### 区役所管内

	内容
1	日本語がわからない。しかも言葉がわからないだけでなく、何か障害があるように感じるが、それをまわりが相談する場所や人はいない。
2	以前職場からのストレスによりメンタルがやられた。仕事につくのが正直怖い。
3	いこいの家や、カルッツ等になるべく参加させて頂いておりますが、いつまで参加し続ける事ができるかが心配です。

### 田島支所管内

	内容
1	父へのトラウマ、恐怖心。相談できる相手がいらないというより、相談したが解決しない。印象操作のような、情報発信者による日本への批判的な内容。在日。

9. 健康づくりに関する問題（0件）

10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題（1件）

区役所管内

	内容
1	新型コロナウイルスによって対面交流ができなくなっていること。

11. その他（3件）

区役所管内

	内容
1	私は今日本語を勉強中です。いつもありがとうございます。

大師支所管内

	内容
1	税金の使い方。

田島支所管内

	内容
1	母が死んだので、今はない。

## (2) 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由としてあげられた意見は、次のとおりである。

### ■ 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

意見の内容	件数
1. 自分自身や子どものため	10
2. 地域交流のため	17
3. 社会貢献	10
4. 健康維持	5
5. 時間に余裕があるから	0
6. 身近で関心・興味がある	6
7. 仕事をしていた或いは資格があるから	5
8. 街の美化のため	4
9. 時間に余裕がなく、できない	8
10. 病気・高齢だからできない	2
11. 参加する気はあるが方法がわからない	0
12. その他	6

### 1. 自分自身や子どものため（10件）

#### 区役所管内

	内容
1	自信持って出来るから。
2	子どもの為になることをしたいと思ったので。
3	子どもが楽しめそうだから。
4	ここ数年、コロナで盆おどりが中止となっている。子どもたちが楽しみにしている行事でもある為、実施できるなら協力したいと思います。

#### 大師支所管内

	内容
1	自分のスキルで人の為になるのであれば、結局は自分の為にもなるのではないかと思う。
2	子どもがいるので子どもが楽しくなるようなことはしてあげたい。（3件）
3	楽しいことを、もっとしていきたいため。楽しいことは参加しやすい。（2件）

#### 田島支所管内

	内容
1	活動に参加することでストレスの発散にもなるし充実した生活が送れる。楽しみが増える。
2	子どもが居る為、子どもに関わる事をしたい。
3	楽しいから。

## 2. 地域交流のため（17件）

### 区役所管内

	内容
1	地域のために自身ができることを積極的にしていきたいと思うから。
2	子どもが長く住んでいく場なので活動を通して友達が出来たり、経験をさせていきたいため。
3	前に参加していた時にたくさんの方と関わり、とても楽しかったので。
4	住んでいる地域での交流があまり無く、関わりをきっかけによく知りたいから。
5	地元と呼べる地域ではなくなってきた。新規で居住してくる人が元からいる人との連携がとれていないから、交流の場を設けてそれに参加して溝を埋めることが必要と考えるから。
6	同じ趣味を通じて、いろいろな人とのつながりを持ちたい。
7	知り合いがいれば参加する。
8	自分が力になることによって地域がより良くなるなら負担にならない範囲で良くしたいから。

### 大師支所管内

	内容
1	同世代と交流がもてるから。
2	人との交流ができる。子どもの見守りは必要であると思うから。働いているため、多くの時間をかけられないため、短期でできるものであれば、関われるから。
3	日本人として、これまで受け継がれて来た伝統、文化を伝承、伝達する義務があると考えております。
4	お祭り等のイベントは楽しそうで興味があるから。

### 田島支所管内

	内容
1	地域活性化。
2	人の役に立ちたいから。地域のコミュニケーションが必要だと思うから。
3	町内会に参加することで知り合ったり助け合いができるようになり、防犯や防災にも役立つため。
4	活動に参加する事で人とのつながりが出来て、輪が広がります。お友達になり孤独感がなくなると思います。自分の体験からです。
5	地域交流やボランティア活動は必要。

### 3. 社会貢献（10件）

#### 区役所管内

	内容
1	今のまま続けることが役に立てる1つのことだと思うから。
2	障がい者支援の必要性を知っているし、その活動が難しいこともあるが、楽しいことも知っているから。
3	見守りを通じた社会活動を考えていきたい。
4	一番助けが必要だと思うから。
5	地域に暮らす一人の人間として、助け合うことは必要だと思う。

#### 大師支所管内

	内容
1	暮らしやすい地域の継続のため。
2	専門的な知識がなくても参加できる。1人1人が地域の安全を気にすることなく外出し活動できる様に。

#### 田島支所管内

	内容
1	人の役に立ちたいから。健全、健康的な生活をしたいから。税金、社会保険料を抑制したいから。収入少なく税負担増、困難。
2	A L Sの父の自宅で、たん吸入、胃ろう、注射や下の世話などやるべき事は全てやりましたが、父の死後社会の役に立つなら自分の得意なことで参加したいと思う。
3	今働いてないので何か自分に役立てることはないかと考えたため。

### 4. 健康維持（5件）

#### 区役所管内

	内容
1	運動不足解消の為。
2	頭と体が動くことをするのがよいから。（2件）

#### 大師支所管内

	内容
1	自分自身の体力をつけるため。
2	体を動かす機会が少ないので。
3	自分の健康維持、人との交流が大切であるから。

5. 時間に余裕があるから（0件）

6. 身近で関心・興味がある（6件）

区役所管内

	内容
1	身近な事なので。

大師支所管内

	内容
1	家族中に高齢者が居るから。
2	得意な事で出来る事ならと思ったから。
3	自身でやってみて大切を感じたから。皆、関わってこなかった（他に誰かやってくれると思ってる人が多すぎる）為必要性が全く伝わってない。
4	自分も子育て中なので、何か協力できることがあれば、と思います。

田島支所管内

	内容
1	詳しく知りたいから。

7. 仕事をしていた或いは資格があるから（5件）

区役所管内

	内容
1	子育て中でもあるし、医療従事者でもあるため何かの役に立てばうれしい。英語も使いたい。
2	いつまでも明るく元気で過ごしたいから。今ヘルパーの仕事をしているので年配の方のお話を色々聞いて勉強したいと思っています。

大師支所管内

	内容
1	書道の資格を生かして、高齢者のデイサービスなどでの楽しみのひとつとして、書道を教えたり、一緒に楽しみたい。
2	職業として長い間携わってきましたので。
3	私は、おどりを習っているので活動したいし、高齢者はもっと外に出て、体身を鍛えて、元気で居てほしいから。（私は82才）です。



## 8. 街の美化のため（4件）

### 区役所管内

	内容
1	⑩川崎は街中ごみだらけなので。④⑥⑧→子どもに楽しみながら地域のコミュニティに参加してもらうことは、本人もここで暮らす上での安心につながると思うので。
2	環境美化→家の前にタバコの吸殻がよく捨てられるのに腹が立っているから。それ以外→楽しそうだから。

### 大師支所管内

	内容
1	公害の街の汚名を払拭させるため。川崎の歴史と文化遺産等知り得た知識を訪れた方に紹介するため。アイデアおよび改良により、私的、公的なものに提供するため。

### 田島支所管内

	内容
1	環境美化は日々気になる。刺しゅうや針仕事の趣味がありますので、静かな作業ができるので。

## 9. 時間に余裕がなく、できない（8件）

### 区役所管内

	内容
1	共働き世代のため、実際に活動することが難しい。
2	現在は自分達の生活で1日が終わってしまうのでボランティアまで考えられないから。
3	地区の役員依頼があるが仕事をしているため活動できていないため。条件がそろえば参加したい。
4	まだ仕事をしているので、時間がない。

### 大師支所管内

	内容
1	自分も子育て中であること。障害児施設で働いてみたい思いはずっとあるが今現在できていない。
2	まだ仕事している為。
3	今現在、義父（夫の父）の見守りで、日々が忙しく考えられない。

### 田島支所管内

	内容
1	平日の仕事で疲れており、休日にボランティアをする余力がない。（2件）

10. 病気・高齢だからできない（2件）

区役所管内

	内容
1	健康面に自信が持てない。
2	目がよく見えない。耳が遠くなった。足があまりよくない。

11. 参加する気はあるが方法がわからない（0件）

12. その他（6件）

区役所管内

	内容
1	別に理由がない。
2	長く続けているので今後も続けていきたい。

大師支所管内

	内容
1	興味がない。

田島支所管内

	内容
1	先の事は今はわからない。
2	当番制で回ってくるので。
3	順番が来れば、又、お受けすると思います。

### (3) 『地域包括ケアシステム』の取組等に対する意見・要望

『地域包括ケアシステム』の取組等に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

#### ■ 『地域包括ケアシステムの取組等』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. システムや取組の周知について（内容を知らない・わからない）	8
2. 市への意見・要望について	7
3. 地域住民とのつながりについて	1
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組み	2
5. 今自分ができないことがない	1
6. 健康について	1
7. 取組の提案	2
8. 取組への期待について	4
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	0
11. 地域防犯・防災について	0
12. サービスや手続きについて	1
13. 医療について	0
14. その他	3

#### 1. システムや取組の周知について（内容を知らない・わからない）（8件）

##### 区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	自身の関心の低さ、情報収集の甘さも原因ではありますが「地域包括システム」のそもそもの認知から高めていくべきと感じます。その上で各市民の協力の必要性が相互扶助が、今後迎える超高齢多死社会の中で重要であることを意識させ、行動を変えるようにしていった方がよいと思います。
2	30～34 歳	川崎区で保育士として 10 年働いていても正直、地域の取組について全然知らないと感じました。このアンケートを機に調べたり関心を広げたりしていきたいと思う。
3	55～59 歳	取組が伝わっていないと思います。市民に何故必要かから、伝達する工夫をお願いします。
4	60～64 歳	このシステムについてよくわかっていません。これからの時代はこういったことの取組が必要になってくると思います。今後、この取組を進めるということには参加できる事があるかどうか検討してみても良いと思います。また「地域包括ケアシステム」について、もう少し情報を入手していきたいと思います。

### 大師支所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	全く知らなかった。申し訳ない。
2	40～44 歳	そもそも市民はこのシステムを何%理解しているのか？実施は可能と本当に考えているのか？老人は老人同士での付き合いであり、助け合う事は可能なのか？
3	55～59 歳	「地域包括ケアシステム」とは、どのようなものか市民に周知する場を設けて欲しい。

### 田島支所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	勉強不足かもしれませんが、システムを知らない方が多いのではないかと思います。(私も含めて) 良い取組だと思うので、広く周知することが大事で、私も含めて興味のある人は多いと思います。

## 2. 市への意見・要望について (7件)

### 区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	健康な年寄りになることを求めるのではなく、そもそも行政は常に最悪の事態に備えて将来に対して提案してほしい。年寄りがさらに増えるまえに、マンション内、町内でのITを使った情報収集を入居時に義務化するなどして小さな地域で細やかな情報を常に知っている状態にしておいて、災害などおきたときにすぐ行政→地域へ連絡、健康でITを使える人がスムーズに仕事をできるような仕組みをつくっていく必要があると思う。
2	55～59 歳	親の介護で区役所等に積極的に行ったが、行政、職員に積極性を感じることはなかった。昔でいうところのお節介な人が必要だが、時代が違う。行政側は、お節介にはならない程度と考えているのであれば、無知識な人には届かない。本音と建前があると考える。机上の空論では？
3	60～64 歳	当方は商売やっていますが、お客様から親の介護が必要なのに、どこに連絡していいのかわからない方が多い。まずは、地域包括支援センターに連絡してからと言っています。老人以外でも、若くて病気で色々困っている方とかも病院ならソーシャルワーカー居るけど退院後にどうしていいかわからない方もいます。
4	70～74 歳	システム構築の為に人員確保、予算執行が必要。川崎市はむだな金使わず福祉に予算使ってください。

### 大師支所管内

	年代	内容
1	25～29 歳	ヤングケアラーの人達を助けてあげてほしい。
2	70～74 歳	地域包括支援センターの担当地域の見直しを考えて欲しい(2件)。新しくできたのに遠くまで行かなければならない。
3	75 歳以上	川崎市においては、推進ビジョンを構築されているので4つの助(自助、互助、共助、公助)を改めて周知させるのであればこのようなアンケートを行うことはないと思う。

### 3. 地域住民とのつながりについて（1件）

#### 大師支所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	町内会との連携。町内会の加入義務。

### 4. 参加しやすい活動やメニューや仕組み（2件）

#### 区役所管内

	年代	内容
1	55～59 歳	日本で行われているボランティア活動がもっと広報されて多くの人が参加できるようになると良いと思います。機会があれば参加したいと考えています。
2	75 歳以上	いろいろなシステムに各個人が関心を持って積極的に参加する事です。ずっとこの地に住んでいる方でもいろいろな事が有るのに参加しない方が沢山いらっしゃいます。参加者を増やす事が第一だと思います。

### 5. 今自分ができることがない（1件）

#### 田島支所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	私は今 71 才福祉、地域のことが考えられない。透析が終ってからは送迎ナシで 1 人で帰ってくるんですが、その時その時の体調が違います。今はまだ自分自身の体のこともあります。地域住宅の中に入って、しっかり勉強して行こうと思えないのです。

### 6. 健康について（1件）

#### 区役所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	イメージとしてお年寄のための取組の様に思いますが、子育て世帯にもっとケアが必要だとはなっていないのでしょうか？お買物をする為に、キャリーバッグを引いている老人を見かけます。お買物は大変でも少しでも歩く機会を作るのは健康にとって必要だと思います。

### 7. 取組の提案（2件）

#### 大師支所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	健康な高齢者がボランティアとしてではなく、収入も得られるような助け合いの制度があれば良いと思う。簡単な短時間の家事等も手伝いも、現金でなくとも地域クーポン等が発行されたりすると、もっと子育て中の主婦でも少しならとなるのではないかなと思う。

**田島支所管内**

	年代	内容
1	55～59 歳	まだ自分はこの制度を必要としない無関心でした。必要としたときの制度の大切ですが基本皆、人の世話になりたくないと思って動けなくなる人の方が多いと思うので、健康推進に付いて来るものだと認識してもらおうと入りやすそうですね。私の父も介護が必要になったときに本人に認識してサービス内容を理解してもらうのにもものすごく拒否されて家族を否定され大変でした。

**8. 取組への期待について（4件）****区役所管内**

	年代	内容
1	65～69 歳	このアンケートで始めて知りました。素晴らしい取組だと思います。
2	65～69 歳	地域包括ケアシステムについては、初めてこのアンケートにて知りましたが具体的内容についてはよく分かりません。しかしながら、よい取組に思えます。

**大師支所管内**

	年代	内容
1	75 歳以上	色々と考えられているとは思いますが、利用しやすいようにお願いしたいです。

**田島支所管内**

	年代	内容
1	50～54 歳	子育て、介護で各家庭で問題が発生すると区役所や支所で相談窓口など支援を求め、介護事業所や担当ケアマネが決まる仕組みで、今後も行政での包括支援は必要と感じている。このシステムがなければ自分は仕事を続けられなかった。

**9. 守秘義務について（0件）****10. 相談窓口について（0件）****11. 地域防犯・防災について（0件）****12. サービスや手続きについて（1件）****大師支所管内**

	年代	内容
1	45～49 歳	福祉や子育てで困った時どこに頼ればいいのかわからない人がいっぱいいると思います。積極的な情報提供がほしい。

13. 医療について（0件）

14. その他（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	25～29歳	お疲れ様でした！ありがとうございます！謝謝！

田島支所管内

	年代	内容
1	55～59歳	母の介護について、助けていただき、大変感謝しています。ありがとうございます。
2	75歳以上	地域包括支援センターの人々との接し方に？

#### (4) 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

『川崎市地域福祉計画』に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

##### ■ 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. 取組の周知について	6
2. 市への意見・要望について	1
3. 地域のつながりについて	1
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	4
5. 今自分がやれることはない	0
6. 健康について	1
7. 取組の提案について	6
8. 取組への期待について	3
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	2
11. 地域防犯・防災について	1
12. サービスや手続きについて	2
13. 医療について	1
14. その他	5

#### 1. 取組の周知について（6件）

##### 区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	無知なので情報を得ていきたいと思う。チラシ・ネット情報等知れる場を増やして頂けると幸いです。
2	55～59 歳	市民に伝わっていないと思います。伝達する工夫をお願いします。

##### 大師支所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	町内会の連絡システムを活用した周知義務。

##### 田島支所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	私たちのために、いろいろな検討をありがとうございます。協力したいけど、取組を知らない人が多いと思いますので、周知方法の検討をされるのも一つの案かもしれません。
2	55～59 歳	内容がわからないのでネットで調べたらわかりにくかった。
3	60～64 歳	わかりやすいビジョンを策定していただきたい。



## 2. 市への意見・要望について（1件）

### 大師支所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	このようなアンケートは二次元コードの送付にすれば、効率的に回答、集計が行えると思います。

## 3. 地域のつながりについて（1件）

### 大師支所管内

	年代	内容
1	75 歳以上	高齢ですが、自治会役員をやっています。若い方々にも参加していただきたいですが、仕事を理由に交代できません。皆さんの役に立つ仕事と思いますが、体力や健康にも不安があります。もっと若い人に町内会や自治会で活躍してほしいです。アンケート内容が、高齢者むきではないように思われます。

## 4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（4件）

### 区役所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	自ら、HP 等で見に行かないと、ただ地域に住んでいるだけでは何も分かりません。情報発信のひとつとしてアプリによるアラートや新着情報の発信を行ってほしいです。
2	55～59 歳	私は両親の介護を終えたので、自分から情報を取りに行く必要はなくなった。ボランティアは、できる準備がある。通勤時間帯しか、駅前を通らないが、その様な場所で積極的にアピールしてくれれば、足を止める。

### 大師支所管内

	年代	内容
1	40～44 歳	実施成果のある事を最小限にし、確実に実施する事。また、単純であるべき。
2	50～54 歳	東京と横浜の間でありながら、あまりパツとしない川崎。駅前の活気がたりないのでは？スポーツ、音楽などイベントの施設が少ない。等々力（フロンターレ）があるが行きづらい。そのうちいなくなってしまうのでは？羽田も近く国際化がすすんでいるのに、何の効果もないのが残念。大手企業はどんどん川崎からはなれ、まだ競馬、競輪からぬけきれてない。

## 5. 今自分がやれることはない（0件）

## 6. 健康について（1件）

### 大師支所管内

	年代	内容
1	25～29 歳	健康増進のために、ジム等を増やしてほしい。

## 7. 取組の提案について（6件）

### 区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	川崎は人口も多いし、人の入れ替わり（とくに若い世代）が多いと感じる。何かおきたときにその若い世代や健康な人しかまわりを助けることはできないのだから社会福祉もそういう人が動きやすくできるようにIT化をどんどん進めてほしい。社会福祉にたずさわる人の人員確保だって今後は難しくなるのだからそもそも人と人のつながりでどうこうできるような将来ではない。そういう気持ちで動くものごとよりもっと統制しやすくするにはどうすれば良いのかを考えないと、だれも救えないし、コミュニティはやりたいたいと思う人が開きやすいような仕組みだけつくれば良いと思う。
2	70～74 歳	市会議員を福祉協議会特別委員にして、ボランティアをやってもらえるのはどうか？この運動に消極的な人は選挙公報にボランティアやらないと書いてもらうか、やる気ありますと書いてもらう。
3	75 歳以上	これからも高齢者達が参加出来るイベント等考えて下さい。楽しみにしています。

### 大師支所管内

	年代	内容
1	60～64 歳	7 年間の介護を終え介護される者の制度が年々充実していくのが解ったがしかしそれを支える介護する者への制度も欲しいと思う。ガン末期自宅療養で私（介護する者）が体調不良になり病院へ行きたくも行けなかったのだ。
2	65～69 歳	以前、訪問介護のヘルパーをしていました。近所の奥様よりご主人が体調を崩し、悩んでいた頃、たまたま散歩中に出逢い、介護の仕事をしていたので、ある質問を受けた事があります。お答え出来る事はお話してあげましたが、相談やこまっている事を当事者からではなく、回覧版又チラシなど、目にして頂ける何か方法を考えていただけたらと思います。

### 田島支所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	地域行政が協力して計画を進めていくと言いますが、近頃はコロナの為に地域での交流が減り、顔を合せる機会がなく、個々での生活を余儀されているので行政の方が家庭訪問などしその方の困っている事を聞き出し提案してあげる事が増やしていくと良いかと思う。

## 8. 取組への期待について（3件）

### 区役所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	全然知らない事ばかりで仕事にかまけてという状態なので、自分の年齢もあり、いろいろ気にかけて行きます。新庁舎も出来るので、計画、活動など理解して考えて行きたいと思います。

### 田島支所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	我が家庭はケアマネ、介護事業所、訪問介護、診療、マッサージいろいろな支援を受けて成り立っています。とても感謝したいと思います。いつもありがとう。
2	70～74 歳	川崎市は福祉面においてもしっかりとしていると思っていますので、これから先お世話になると思いますが宜しくお願いします。

## 9. 守秘義務について（0件）

## 10. 相談窓口について（2件）

### 大師支所管内

	年代	内容
1	55～59 歳	相談窓口をもっと増やすことしかない。どこに何をどれだけ相談できるか知らない、分からない人が多い。無関心さが加速しているので、まずは小学校と連携して思いやりの心を育てるべき。子→親→老人のアプローチは効果がある。子の手本となる親作りをし、老人へのケアの心を持ってもらう。
2	75 歳以上	私始め大方の市民は、その立場になった時にどこに問い合わせたらよいかの窓口が分からない。余りにも窓口が多いため、相談できる窓口を一本化できないであろうか。川崎市のサンキューコールのように福祉等に関する相談窓口の代表電話を設定し、コールセンターからピラミッド状になった組織の内、適時な相談者の窓口を指示して頂けるシステムを行政として構築して貰いたい。

## 11. 地域防犯・防災について（1件）

### 田島支所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	最近、車いすでの外出をよく見かけます。小田周辺は道幅が狭く、見ていて非常に危険だと感じます。また、公園が少なく、道路上で遊ぶ児童も多いです。公園を増やし、道路を広げ、高齢者にも児童にも安全な地域にして欲しいです。

## 1 2. サービスや手続きについて（2件）

### 大師支所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	最終的には金がかからず福祉を受けられる様に。

### 田島支所管内

	年代	内容
1	75 歳以上	スーパー等で買い物をした時自宅届けを無料にしてほしい。ごみ出しをする時体調が悪い時は自宅前に出しても収集してほしい。

## 1 3. 医療について（1件）

### 区役所管内

	年代	内容
1	60～64 歳	地域の病歴の把握とかをベースに見守りが出来ればと思います。

## 1 4. その他（5件）

### 区役所管内

	年代	内容
1	25～29 歳	優しい町になりますように。
2	25～29 歳	お疲れ様でした！ありがとうございます！辛苦了！謝謝
3	40～44 歳	「地域福祉計画」について、よく知りませんでした。今回、このアンケートに答えたことをきっかけに、よく調べてみようと思いました。
4	60～64 歳	意見や提案ではないのですが、今まで「川崎市地域福祉計画」や「区地域福祉計画」という言葉も知らない状態でした。「地域包括ケアシステム」も含め、今回このアンケートを受け取り回答していきながら、これらのことについてもう少し関心を持っていきたいと思いました。投函が遅くなってしまい申し訳ございませんでした。

### 大師支所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	2022 年 5 月まで 3 年間地方へ転居していたためか川崎市政に疎くなっていることを実感しました。

資料

# アンケート調査票

---



# 地域の生活課題に関する調査

みなさまには、日頃から川崎市の市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。現在、本市では『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに向け、市民や団体活動を行っている方々の（意識）調査を実施しております。

この（意識）調査は、『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに関わる調査の一つとして、無作為に選ばせていただきました市内在住の18歳以上の方を対象に、地域における生活課題などについての意識やご意見、ご要望をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月 川崎市長 福田 紀彦

## 【記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、最初から順番にお答えください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
5. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月16日（金）**までにポストに投函してください。

※外国人の方で日本語を読むことが困難な方におかれましては、ルビ付きの調査票をご準備しておりますので、必要な方はご連絡ください。また、川崎市国際交流センターで相談をお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

## 【調査結果の公表】

この調査の結果は、地域福祉実態調査概況のうち「地域の生活課題に関する調査概況」として、川崎市ホームページ（<http://www.city.kawasaki.jp/>）に掲載します。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、お問い合わせください。

## ■問い合わせ先

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当

電話番号：044-200-2626（直通）

FAX：044-200-3926

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

E-mail：40keasui@city.kawasaki.jp





問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- |            |          |               |
|------------|----------|---------------|
| 1. 祖父母     | 2. 父     | 3. 母          |
| 4. 配偶者     | 5. 兄弟姉妹  | 6. 子          |
| 7. 孫       | 8. その他親族 | 9. いない(一人暮らし) |
| 10. その他( ) |          |               |

問8 一緒に暮らしているご家族(あなたを含む)のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 同居している65歳以上の方がいる                       |
| 2. 同居している要介護認定を受けている方がいる                  |
| 3. 同居している障害者手帳(身体・療育・精神保健福祉)の交付を受けている方がいる |
| 4. 同居している小学校就学前の子どもがいる                    |
| 5. 同居している小学生の子どもがいる                       |
| 6. 同居している中学生以上の18歳未満の子どもがいる               |
| 7. 家に引きこもりがちな方がいる                         |
| 8. いずれにも該当する家族がいない                        |

問8-1 同居していないご家族を含め、ご家族のうち、以下の項目に該当する方は、いらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 同居していない65歳以上の方がいる                       |
| 2. 同居していない要介護認定を受けている方がいる                  |
| 3. 同居していない障害者手帳(身体・療育・精神保健福祉)の交付を受けている方がいる |
| 4. 上記1~3以外で、同居していない家族の中に気に懸かる方がいる<br>( )   |
| 5. いずれにも該当する家族がいない                         |



## 【「川崎市地域福祉計画」についておたずねします】

川崎市では、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築をめざして、令和3年3月に「市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせるふるさとづくり」を基本理念とする『第6期川崎市地域福祉計画』及び7つの区で『区地域福祉計画』を策定しました。

地域福祉計画は、それぞれの生活の拠点である地域において、共に生きるまちづくりの精神を発揮して、市民と行政がともに地域社会の生活課題の解決に取り組むことにより、誰もが安心していきいきと健やかに暮らせるような地域社会をつくることを目的としています。

また、“地域福祉”とは、こうした地域社会をつくりあげていくための市民や行政の取組と言えます。

問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。(○は1つだけ)

1. 市の計画、区の計画の両方を知っている
2. 区の計画は知らないが、市の計画は知っている
3. 市の計画は知らないが、区の計画は知っている
4. 市の計画も区の計画も知らない ⇒問 13 へ

問 12-1 計画は何で知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市政だより
2. 市や区のホームページ
3. チラシ・パンフレット
4. 市や区の計画での取り組みに参加した
5. 団体等の会合
6. 交流会・ワークショップ
7. シンポジウム
8. 講演・講習会
9. 口コミ(友人・知人や近隣の方からの)
10. その他( )

## 【あなたがお住まいの地域についておたずねします】

問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(○は1つだけ)

1. 両隣
2. 向こう三軒両隣程度
3. 同じ集合住宅(アパート、マンションなど)
4. 歩いて5分(およそ100m)以内程度
5. 歩いて10分(およそ200m)以内程度
6. その他( )

問 14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 1. 家族のように親しくつきあっている     |              |
| 2. 電話、メールなども含めて、親しく話をする |              |
| 3. とくとき話をする程度           | 4. あいさつをする程度 |
| 5. ほとんどつきあいがな           | 6. その他 ( )   |

問 15 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。(○は1つだけ)

- |   |
|---|
| 1. 地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ     |
| 2. いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい |
| 3. 困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない    |
| 4. 地域での助け合いは必要だと思わないが、地域で交流すること自体は大切だ     |
| 5. 地域との交流より、気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えばよい  |
| 6. 困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日頃の交流は必要ない   |
| 7. その他 ( )                                |

問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 加入している ⇒ 問 17 へ        |
| 2. 加入していたが、退会した・加入したことはない |

問 16-1 現在加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1. 行事に参加できない            | 2. きっかけが無い       |
| 3. 特に不便を感じない・必要性を感じない   |                  |
| 4. 集合住宅の管理組合に加入している     |                  |
| 5. 仕事、子育て、介護等が忙しくて時間がない |                  |
| 6. 地域のつきあいがわずらわしい       | 7. 会費に見合うメリットがない |
| 8. 加入の仕方がわからない          | 9. 面倒だから         |
| 10. 関心がない               | 11. その他 ( )      |

問 17 あなたは、助け合いをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。  
(○は1つだけ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 隣近所程度     | 2. 町内会・自治会程度 |
| 3. 小学校区程度    | 4. 中学校区程度    |
| 5. お住まいの区内程度 | 6. 川崎市内程度    |
| 7. それ以上      | 8. その他 ( )   |

問 18 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 健康づくりに関する問題 (ストレス、食育、生活習慣病など)                                 |
| 2. 高齢者に関する問題 (介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど)                             |
| 3. 障害児・者に関する問題 (地域生活支援、権利擁護、活動支援、障害に対する理解など)                     |
| 4. 子どもに関する問題 (育児不安、児童虐待、ヤングケアラー、子育て支援、教育、しつけ、遊び場づくりなど)           |
| 5. 地域防犯・防災に関する問題 (交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など)                      |
| 6. 地域のつながりに関する問題 (近所づきあい、新型コロナウイルスなど新興感染症による対面での交流、人と人との関係が希薄など) |
| 7. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題                                  |
| 8. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題                                |
| 9. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない (足りない) という問題                             |
| 10. 地域での活動・資源に関する問題 (買い物、移動、食事など)                                |
| 11. その他 ( )  |
| 12. 特に問題だと感じていることはない ⇒問 19 へ                                     |

問 18-1 その問題は、具体的にどのようなことですか。身近な事例などがあれば教えてください。

--

問 19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない |
| 2. 介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない    |
| 3. 経済的に生活できるか不安である           |
| 4. 病気になったときに頼れる人が身近にいない      |

5. 子育てがうまくできるか不安である
6. その他（

）

問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 身近でいつでも相談できるところがあること
2. 保健や福祉のサービスの利用料が低額であること
3. 保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること
4. 緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること
5. 利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること
6. 保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること
7. 保健や福祉のサービスの質を評価した情報があること
8. その他（
9. 特に何も必要だとは思わない

）

問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 同居している家族
2. 友人・知人
3. 離れて暮らしている家族
4. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）の職員
5. かかりつけの医療機関
6. 近所の人
7. 福祉施設やサービス提供事業所の職員
8. 地域包括支援センター等専門相談機関
9. 民生委員児童委員
10. 社会福祉協議会
11. 民間の相談機関（電話相談を含む）
12. インターネット
13. その他（
14. 相談する人はいるが、誰にも相談しない
15. 相談する人がいない

）

問 22 あなたには、友人と呼べる人がいますか。（○は1つだけ）

1. いる

2. いない

⇒問 23 へ

問 22-1 何人くらいいますか。

人

問 22-2 その中で、実際に会ったことのないインターネット上の友人はいますか。

(○は1つだけ)

1. いる

2. いない

問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。(○は3つまで)

1. 親族

2. 友人・知人

3. 近所の人

4. 民生委員児童委員

5. 社会福祉協議会

6. 地域の活動団体

7. NPO等の民間団体

8. 区役所・市役所

9. 地域の医療機関

10. ケアマネジャーやホームヘルパー等

11. その他 ( )

12. 誰もいない

13. 頼みたくない

問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(○は3つまで)

1. 安否確認の見守り・声かけ

2. 趣味など世間話の相手

3. 子育て・介護などの相談相手

4. 炊事・洗濯・掃除などの家事

5. 草むしり、冷蔵庫内の整理

6. ちょっとした買い物

7. 子どもの預かり

8. 外出の付き添い

9. 災害時の手助け

10. ごみ出し・雨戸の開け閉め

11. 電池交換や簡単な大工仕事

12. その他 ( )

13. 特にない

問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(○は3つまで)

1. 安否確認の見守り・声かけ

2. 趣味など世間話の相手

3. 子育て・介護などの相談相手

4. 炊事・洗濯・掃除などの家事

5. 草むしり、冷蔵庫内の整理

6. ちょっとした買い物

7. 子どもの預かり

8. 外出の付き添い

9. 災害時の手助け

10. ごみ出し・雨戸の開け閉め

11. 電池交換や簡単な大工仕事

12. その他 ( )

13. 特にない

問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。（○は1つだけ）

1. 現在、在宅で療養している
2. 在宅で療養したいし、おそらく可能である
3. 在宅で療養したいが、おそらく不可能である
4. おそらく在宅で療養することは可能だがしたくない
5. おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない
6. その他（ )

問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

1. 意思表示の書面は必要であり、すでに作成している
2. 意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない
3. 意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている
4. 意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある
5. 意思表示の書面は必要ないし、家族で話し合う必要もない
6. すべて家族にまかせるので必要ない
7. すべて医療者や病院にまかせるので必要ない
8. その他（ )

問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（○は5つまで）

1. 地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組
2. 電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組
3. 民生委員児童委員による見守りの取組
4. ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認
5. 定期的な電話や傾聴等の話し相手
6. 会食会、コミュニティ・カフェ、サロンなどを催し、地域交流を深める取組
7. 地域包括支援センター等による生活実態の把握
8. 弁当の配食時に安否確認する取組
9. 児童の登下校時の見守りの取組
10. 身近な地域で開催される運動や体操などの取組
11. その他（ )
12. 特にない
13. わからない



問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）

1. すでに制度を利用している
2. おおむね制度について知っている
3. 言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない
4. 知らない ⇒問30へ

問 29-1 制度の相談窓口となっている機関で知っているものはどれですか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
2. あんしんセンター（成年後見支援センター）
3. 地域包括支援センター
4. 障害者相談支援センター
5. その他（ ）

### 【地域活動やボランティア活動についておたずねします】

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ（運動会などを含む）に関する活動
13. 自分のスキル（能力や技能）を活かした活動
14. オンラインでの活動
15. その他（ ）
16. 今は参加していないが条件が整えば参加したい ⇒問30-2から問30-5へ
17. 参加したことがない ⇒問30-6へ

「1」～「15」に○をつけた方は、問30-1へ進む

問 30-1 活動に参加した動機やきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人の役に立ちたいから
2. 自分たちのために必要な活動だから
3. 家族・友人・知人から誘われたから
4. 学校の授業などで機会があったから
5. 困っている人や団体から頼まれたから
6. 余暇を有効に活用したいから
7. 趣味や特技を活かしたいから
8. 楽しそうだから
9. つきあいのため、やむを得ず
10. その他 ( )
11. なんとなく

問 30-2 あなたは、今後どのような活動なら参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化(ごみ拾いなどを含む)に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動
13. 自分のスキル(能力や技能)を活かした活動
14. オンラインでも参加可能な活動
15. その他 ( )
16. 具体的にはわからない

問 30-3 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問 30-4 参加される場合、活動可能な日数はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1～2回 | 3. 月2～3回 |
| 4. 月1回   | 5. 月1回未満 |          |

問 30-5 オンラインでの活動も含めて、参加される場合、活動可能な時間はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 平日日中（10～17時）2時間以内 | 2. 平日日中（10～17時）4時間以内 |
| 3. 平日日中（10～17時）6時間以内 | 4. 平日夜間（17～20時）      |
| 5. 休日日中（10～17時）2時間以内 | 6. 休日日中（10～17時）4時間以内 |
| 7. 休日日中（10～17時）6時間以内 | 8. 休日夜間（17～20時）      |

問 30-6 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がない        |
| 2. きっかけがつかめない            |
| 3. 身近に活動グループや仲間がない（知らない） |
| 4. 健康に自信がない              |
| 5. 家族や職場の理解が得られない        |
| 6. 興味を持てる活動がない           |
| 7. 育児や介護を必要とする家族がいる      |
| 8. 一度は始めると拘束されてしまう       |
| 9. 行政や事業者が行えばよい          |
| 10. 人と接するのが苦手            |
| 11. 地域活動やボランティア活動はしたくない  |
| 12. その他（ )               |
| 13. 特に理由はない              |

問 30-7 あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いませんか。（あてはまるものすべてに○）

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 活動する時間ができれば                   |
| 2. オンライン等を活用した活動であれば             |
| 3. きっかけがあれば                      |
| 4. 身近に活動グループや仲間がいれば              |
| 5. 体力や健康に自信があれば                  |
| 6. 家族や職場の理解が得られれば                |
| 7. 興味を持てる活動があれば                  |
| 8. ボランティア活動に参加していることが評価されるようになれば |
| 9. その他（ )                        |
| 10. 地域活動やボランティア活動はしたくない          |

**【保健・福祉に関することについておたずねします】**

問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。（○はそれぞれ1つだけ）

	1 知っている	2 知らない
ア. 社会福祉協議会	1	2
イ. 民生委員児童委員	1	2
ウ. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）	1	2
エ. 地域包括支援センター	1	2
オ. あんしんセンター（成年後見支援センター）	1	2
カ. 老人クラブ	1	2
キ. いきいきセンター（老人福祉センター）	1	2
ク. いこいの家（老人いこいの家）	1	2
ケ. 障害者相談支援センター	1	2
コ. 地域療育センター	1	2
サ. 地域リハビリテーションセンター	1	2
シ. 聴覚障害者情報文化センター	1	2
ス. 視覚障害者情報文化センター	1	2
セ. 児童相談所	1	2
ソ. 地域子育て支援センター	1	2
タ. こども文化センター	1	2
チ. 福祉パル（区社会福祉協議会）	1	2
ツ. 総合福祉センター（エポックなかはら）	1	2

問 32 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存知ですか。（○は1つだけ）

- 1. 名前も活動内容も知っている
- 2. 名前を知っており、活動内容も少しは知っている
- 3. 名前は知っているが、活動内容は知らない ⇒問 33 へ
- 4. 名前も活動内容も知らない ⇒問 33 へ

問 32-1 あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。（○は3つまで）

- 1. 在宅福祉サービスの充実
- 2. 子育て支援の充実
- 3. ボランティア活動の促進
- 4. 各種福祉講座・教室の開催
- 5. 身近な相談の場としての機能強化
- 6. 住民懇談会等の小地域活動の促進
- 7. NPOやボランティアグループへの支援
- 8. 福祉関係団体の活動支援
- 9. その他（ ）
- 10. 特になし

問 33 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1. 市の広報
- 2. インターネットのホームページ
- 3. チラシ・パンフレット
- 4. 新聞・テレビ
- 5. 民生委員児童委員
- 6. 社会福祉協議会
- 7. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
- 8. 町内会・自治会の回覧板
- 9. 友人・知人
- 10. 学校
- 11. 近隣
- 12. 団体等の広報紙等
- 13. その他（ ）

問 34 あなたは、ふだんパソコンや携帯電話でインターネットにアクセスしたり、メールのやりとりをどのくらいしていますか。（○は1つだけ）

- 1. ほとんど毎日
- 2. 週に2～3日程度
- 3. 週に1日程度
- 4. 月に数日程度
- 5. ほとんどない

## 【防災に対する意識と備えについておたずねします】

問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 防災グッズの準備、食料や水の備蓄など
2. 携帯トイレ（簡易トイレ）を備えておくこと
3. 停電時の対策（懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等）
4. 近くの学校や公園などの避難場所の確認
5. 緊急時における家族との連絡方法の確認
6. 学校や勤め先からの帰宅ルートの確認
7. 子どもや高齢者などの世話を誰かに頼む
8. 警戒レベル（5段階）などの防災情報の意味を知っておくこと
9. その他（）
10. 特にない

問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 近所の人と挨拶をする程度の関係をつくっておくこと
2. 避難するのに支援が必要な人を把握しておくこと
3. 住民同士で家族構成・要介護度などについてある程度知っておくこと
4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
5. ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと
6. 地域の避難所を知っておくこと
7. 地域で主体的に防災につながる活動を行うこと
8. 防災訓練に参加すること
9. ボランティア活動への参加
10. わからない
11. その他（）

問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 川崎市地域防災計画       | 2. 各区地域防災計画         |
| 3. 地区ごとに作成している防災計画 | 4. 災害時要援護者避難制度      |
| 5. 川崎市防災マップ        | 6. 土砂災害ハザードマップ      |
| 7. 福祉避難所           | 8. 防災啓発冊子「備える。かわさき」 |
| 9. 川崎市防災ポータルサイト    | 10. 自主防災組織          |
| 11. マイタイムライン       | 12. 川崎市災害ボランティアセンター |
| 13. すべて知らない        |                     |



## 【今後の地域福祉の推進についておたずねします】

問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること
2. 地域の課題や問題に主体的に取り組むボランティアや地域で活動する人を増やすこと
3. 地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること
4. 地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること
5. 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと
6. その他（ ）
7. 特に取り組むべきことはない

問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握
2. 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり
3. ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成
4. 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示
5. サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実
6. ワークショップや地域交流会などによる地域の課題等を共有する場・機会の提供
7. 地域の自主的活動と行政サービスの連携強化
8. その他（ ）

問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座
2. ワークショップやKJ法※など会議の方法や進め方が学べる講座
3. 地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座
4. アンケート調査や聞き取り調査などさまざまな調査技術が学べる講座
5. 支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座
6. 活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座
7. 障害者が困っていることを疑似体験を通して学べる講座
8. 先進的な取り組み事例が学べる講座
9. その他（ ）
10. 特にない

※KJ法：データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて図解し、情報や課題を整理していく方法



問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。（○は1つだけ）

※「地域包括ケアシステム」とは…

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けるため、住まい、医療、介護、予防、福祉・生活支援が切れ目なく、一体的に提供される仕組と地域づくりの取組のことです。この取組を進めるには、市民や事業者、地域・ボランティア団体、行政など、地域全体でそれぞれが適切な役割分担により、取り組むことが大切です。

1. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している⇒問45へ
2. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない⇒問45へ
3. 地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない
4. 地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない
5. 地域包括ケアシステムを聞いたことがない

問 44-1 地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。（○は1つだけ）

1. 定期的に行っている（具体的に： \_\_\_\_\_）
2. たまに行っている（具体的に： \_\_\_\_\_）
3. 行っていないが、機会があれば行いたい
4. 行っていないし、関心もない

問 45 「地域包括ケアシステム」の取組等について、御意見があればお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

問 46 最後に、『川崎市地域福祉計画』または『区地域福祉計画』に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

## 第6回川崎市地域福祉実態調査 結果概要（川崎区版）

---

令和5年3月発行

発行 川崎市

編集 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044-200-2626（直通） FAX 044-200-3926

E-mail 40keasui@city.kawasaki.jp

---